

富谷市
第6期障がい福祉計画・
第2期障がい児福祉計画策定に向けた
実態把握調査結果報告書

令和2年3月
富谷市

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査票の回収状況	2
4. 報告書の見方	2
5. 調査結果のまとめ	3
第2章 調査結果	6
あて名ご本人のことについて	6
障がいの状況や支援体制について	13
生活の状況について	18
仕事について	23
外出について	34
障がい者交通対策について	43
福祉サービスについて	51
権利擁護について	54

第 1 章 調査概要

1. 調査の目的

富谷市第 6 期障がい福祉計画・第 2 期障がい児福祉計画を策定するにあたり、富谷市民の日常生活の状況や、課題・ニーズ等を把握し計画策定の基礎資料とするために本調査を実施しました。

2. 調査対象及び調査方法

①調査地域

- ・ 富谷市

②調査対象者

- ・ 市内在住の身体障害者手帳所持者及び市外在住の居住地特例対象施設に入所する身体障害者手帳所持者（65 歳未満の方）
※65 歳以上は高齢者保健福祉計画・第 8 期介護保険事業計画実態把握調査にて実施
- ・ 市内在住の療育手帳所持者及び市外在住の居住地特例対象施設に入所する療育手帳所持者（全数）
- ・ 市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者及び市外在住の居住地特例対象施設に入所する精神障害者保健福祉手帳所持者（全数）

③標本数

- ・ 身体障害者手帳所持者：338 名
- ・ 療育手帳所持者：254 名
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者：231 名

④標本抽出方法

- ・ 抽出調査を実施

⑤調査期間

- ・ 令和元年 12 月 2 日から令和元年 12 月 27 日
※封書により調査協力の依頼後、令和 2 年 1 月 10 日まで回収

⑥調査方法

- ・ 郵送配布、郵送回収

⑦調査実施機関

- ・ 富谷市 保健福祉部 地域福祉課

3. 調査票の回収状況

	身体障害者 手帳所持者	療育 手帳所持者	精神障害者保健福祉 手帳所持者	合計
対象者数	338	254	231	823
回収数	169	140	130	439
回収率	50.00%	55.12%	56.28%	53.34%

4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

5. 調査結果のまとめ

①あて名ご本人のことについて

- 調査票の記入者は、身体障がい者と精神障がい者の8割近くが「本人」ですが、知的障がい者では3割に満たず、「母親もしくは父親」の記入が6割台前半で最も多くなっています。
- 調査対象者の性別は、三障がいともに「男性」が「女性」を上回っています。
- 年齢構成は、身体障がい者では「50～59歳」、「60～69歳」、知的障がい者では「10～19歳」、精神障がい者では「40～49歳」が最も多くなっています。
- 調査対象者の同居家族は、知的障がい者と精神障がい者では「親（配偶者の親を含む）」が、身体障がい者では「配偶者」が最も多くなっています。
- 調査対象者の住まいは、三障がいともに「自宅（持家）」が最も多くなっています。
- 調査対象者の居住地区は、身体障がい者では「日吉台、杜ノ橋」、知的障がい者では「成田」、「明石台」、精神障がい者では「あけの平、とちの木、熊谷」が最も多くなっています。
- 調査対象者の収入の種類は、三障がいともに「障害年金」による収入が約4割から5割台前半となっているほか、身体障がい者では「就労収入」が最も多くなっています。

②障がいの状況や支援体制について

- 本人が障がいに気づいたきっかけについては、三障がいともに「病院で医師から話があった」が最も多くなっています。また、知的障がい者では「家族や周りの人から話があった」、「乳幼児健診」が、「保育園・幼稚園・学校の先生から話があった」にも一定数の回答がみられます。
- 障がいや発達の不安等に気づいたときの相談先は、三障がいともに「医療機関」が最も多く、次いで「家族や親戚」となっています。また、知的障がい者では「児童相談所」が約2割で他の障がいに比べて多くなっています。
- 適切な支援を受けるために必要なことについては、三障がいともに「専門家による相談体制の充実」が最も多いほか、知的障がい者では「乳幼児期の健康診断の充実」、精神障がい者では「電話・メールによる相談体制の充実」が他の障がいに比べて多くなっています。
- 将来のことで不安に思うことについては、身体障がい者と知的障がい者では「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）」について、精神障がい者では「支援者がいなくなった後の経済面について」が最も多くなっています。
- 18歳未満の障がい児に対して支援体制のさらに充実してほしい点については、身体障がい者と精神障がい者では「学習に対する支援」、知的障がい者では「療育を行う施設の増設」が最も多くなっています。

③生活の状況について

- 将来希望する生活の場については、三障がいとも「自宅（持家）」が最も多くなっていますが、身体障がい者と精神障がい者ではそれぞれ約7割と6割であるのに対し、知的障がい者では3割台前半と他の障がいに比べて低くなっています。また、知的障がい者では「グループホーム」が他の障がいに比べて多くなっています。
- 問13で回答した場所で暮らすために必要なことについては、身体障がい者では「家族の支援」、知的障がい者と精神障がい者では「経済的支援」が最も多くなっています。
- 地域生活支援拠点等整備事業を知っているかについては、三障がいとも「知らない」が7割台半ばから8割台後半で、「知っている」を大きく上回っています。
- 地域生活支援拠点等整備事業に望むことについては、身体障がい者と精神障がい者では「相談機能」、知的障がい者では「緊急時の受け入れ・対応」が最も多くなっています。また、知的障がい者では「体験の機会・場の提供」が他の障がいに比べて多くなっています。

○生きがいや楽しみのある生活のために行っていることについては、三障がいともに「外出（買い物・映画など）」が最も多くなっています。また、知的障がい者では「通所事業所などに行くこと」、精神障がい者では「特にない」が他の障がいと比べて多くなっています。

④仕事について

○仕事の状況については、身体障がい者と知的障がい者では「現在仕事をしている（就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」が、精神障がい者では「現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない」が最も多くなっています。

○就労の形態については、身体障がい者では「会社などで正社員として働いている」が、知的障がい者では「就労継続支援事業所（B型）で働いている」が、精神障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている」が最も多くなっています。

○仕事上の悩みや困り事については、「特にない」を除くと三障がいともに「収入が少ない」が最も多くなっています。また、知的障がい者では「職場までの通勤が大変」が他の障がいに比べて多く、精神障がい者では「病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」、「病気・障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある」が他の障がいに比べて多くなっています。

○希望する就労については、身体障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」が、知的障がい者と精神障がい者では「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」が最も多くなっています。

○高等学校などの卒業後の進路の希望については、回答該当者の多かった知的障がい者では「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」が最も多く、次いで「迷っている・わからない」、「会社などで正社員として働きたい」となっています。

○仕事を選ぶために特に大切だと思うことについては、身体障がい者と精神障がい者では「生活できる十分な賃金」が、知的障がい者では「能力にあった仕事」が最も多くなっています。また、知的障がい者では「ジョブコーチなどによる支援」「交通手段の確保」がほかの障がいに比べて多くなっています。

○就労を支援する関係機関の認知度については、「公共職業安定所（ハローワーク）」、「富谷市役所」は、三障がいともに「知っている」が7～8割台で、「知らない」を大きく上回っています。一方で「障害者就業・生活支援センターわ〜く」、「宮城障害者職業センター」は、三障がいともに「知らない」が約6割以上で、「知っている」を大きく上回っています。

○就労を支援する関係機関の利用状況については、三障がいともに「富谷市役所」は「利用中・利用したことがある」が5割台で、「利用したことがない」を大きく上回っています。関係機関の利用意向については、すでに利用しているという回答の多い「富谷市役所」を除くと、どの機関へも「利用してみたい」への回答が1割台未満から1割半ばとなっています。

⑤外出について

○ふだんの外出の頻度については、三障がいともに「ほとんど毎日」が最も多く、身体障がい者では4割台後半、知的障がい者では5割台後半、精神障がい者では3割台前半となっています。

○外出する際の主な目的については、三障がいともに「買い物」が最も多いほか、精神障がい者では「医療機関への通院」も同数となっています。

○最もよく行く地域については、三障がいともに「市内」が最も多くなっています。

○外出する際に利用する主な交通手段は、身体障がい者では「自家用車（自分で運転する）」が、知的障がい者では「家族による送迎」が、精神障がい者では「路線バス」が最も多くなっており、障がいによって回答の傾向に違いがあります。

○居住地区別にみると、「路線バス」は、各地区での利用がみられます。三障がいを合計すると、とくに、「成田」、「東向陽台」、「太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田」で多くなっています。

○外出する際に不安なことについては、身体障がい者、知的障がい者では「特にない」が、精神障がい者では「経費がかかる」が最も多くなっています。一方で身体障がい者では、「道路に階段が多い」、「駅や建物などに段差が多い」が、知的障がい者では「会話が困難」が、精神障がい者では「人目が気になる」、「経費がかかる」が他の障がいに比べて多くなっています。

⑥障がい者交通対策について

○とみばすの利用申請状況については、身体障がい者では「申請するつもりはない」が、知的障がい者では「申請対象外である」が、精神障がい者では「申請し、利用している」が最も多くなっており、障がいによって回答に違いがあります。また、外出する際に利用する主な交通手段別にみると三障がいともに、「路線バス」「富谷市民バス」では「申請し、利用している」が3～6割台と一定数いる状況です。

○とみばすの2回目以降の入金申請については、三障がいともに「した」が「していない」を上回っています。入金申請をしていない理由については、三障がいともに「入金申請をするほど利用していないから」の回答が多くなっています。

○とみばすを申請しない一番の理由については、三障がいともに「バスや地下鉄等を利用しないから」が最も多くなっています。

○タクシーチケットの利用申請状況については、三障がいともに「申請対象外である」が最も多く、次いで「制度を知らなかった」となっています。

○タクシーチケットの対象拡大の希望については、三障がいともに「わからない」が最も多く2割台半ばから3割台半ば、次いで「する」が1割台、「しない」が1割未満となっています。

⑦福祉サービスについて

○利用しているサービスについては、知的障がい者で1割を超える利用がみられます。「放課後等デイサービス」が最も多く、次いで、「就労継続支援（B型）」、「短期入所（ショートステイ）」で2割前後、「生活介護」が1割半ばとなっています。

○今後のサービス利用意向については、身体障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」がいずれも1割未満となっています。また、知的障がい者では、障害福祉サービスの「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」で、〈短期入所（ショートステイ）〉が最も多く、次いで〈同行援護・行動援護〉〈共同生活援助・自立生活援助（グループホーム）〉となっています。精神障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」で、〈居宅介護（ホームヘルプ）〉〈就労移行支援・就労定着支援〉が多くなっています。

⑧権利擁護について

○「地域福祉権利擁護事業」の認知度については、三障がいともに「知らない」が5割前半から約7割で「知っている」、「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」を大きく上回っています。

○「成年後見制度」の認知度については、身体障がい者と知的障がい者では「知っている」、「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」、「知らない」がそれぞれ2割台半ばから3割台前半と回答が分散しているのに対し、精神障がい者では「知らない」が5割台半ばとなっています。

○今後の利用意向について、「今は必要ないが、将来利用してみたい」の回答は、「地域福祉権利擁護事業」、「成年後見制度」それぞれ、身体障がい者では1割台、知的障がい者では3割台、精神障がい者では2割前後となっています。

第2章 調査結果

問1 この調査票の記入者はどなたですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○調査票の記入者は、身体障がい者と精神障がい者の8割近くが「本人」ですが、知的障がい者では3割に満たず、「母親もしくは父親」の記入が6割前半で最も多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	本人	128	75.7	36	25.7	103	79.2
2	配偶者	11	6.5	1	0.7	8	6.2
3	子ども	1	0.6	1	0.7	1	0.8
4	子どもの配偶者	0	0.0	2	1.4	0	0.0
5	母親もしくは父親	14	8.3	89	63.6	12	9.2
6	その他	3	1.8	17	12.1	4	3.1
	不明・無回答	14	8.3	6	4.3	4	3.1

あて名ご本人のことについて

問2 あなたの性別、年齢についてお伺いします。

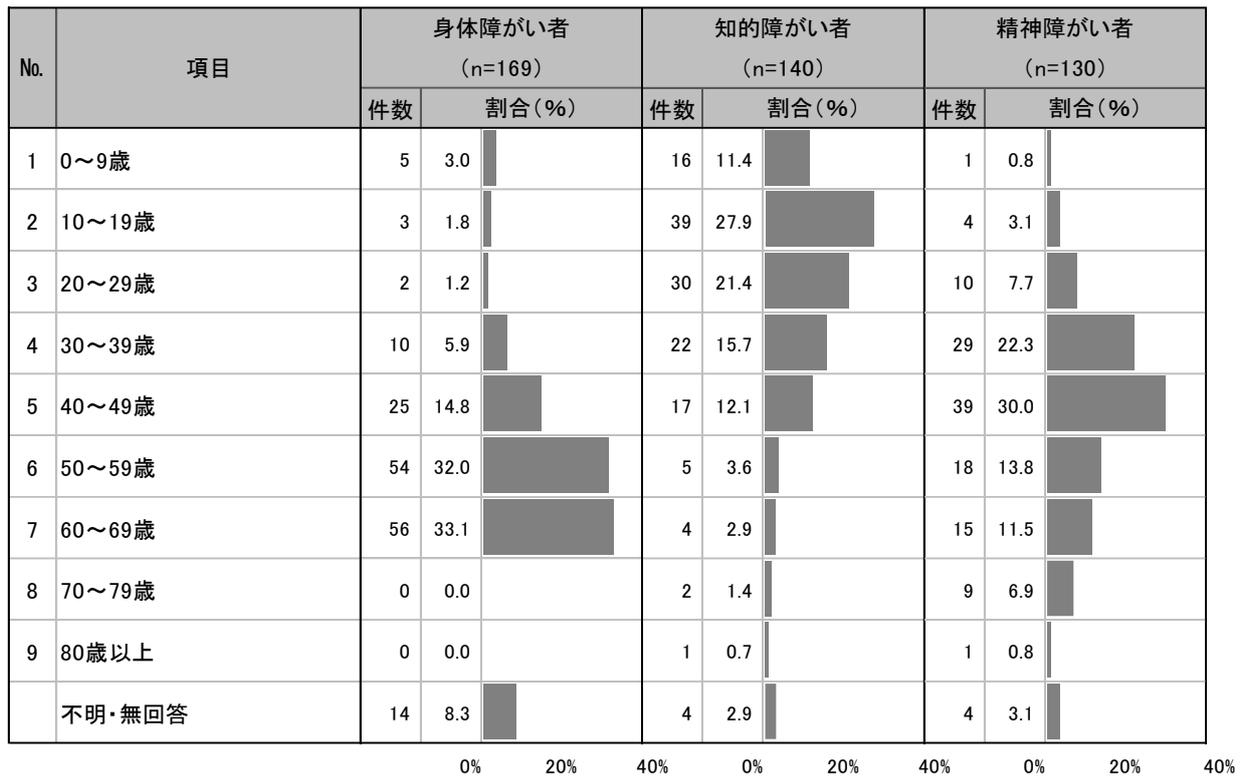
○調査対象者の性別をみると、三障がいともに「男性」が「女性」を上回っています。

○年齢構成をみると、身体障がい者では「50～59歳」、「60～69歳」が3割前半、知的障がい者では「10～19歳」が2割後半、精神障がい者では「40～49歳」が3割となっており、最も多い年齢層に違いがあります。

■性別

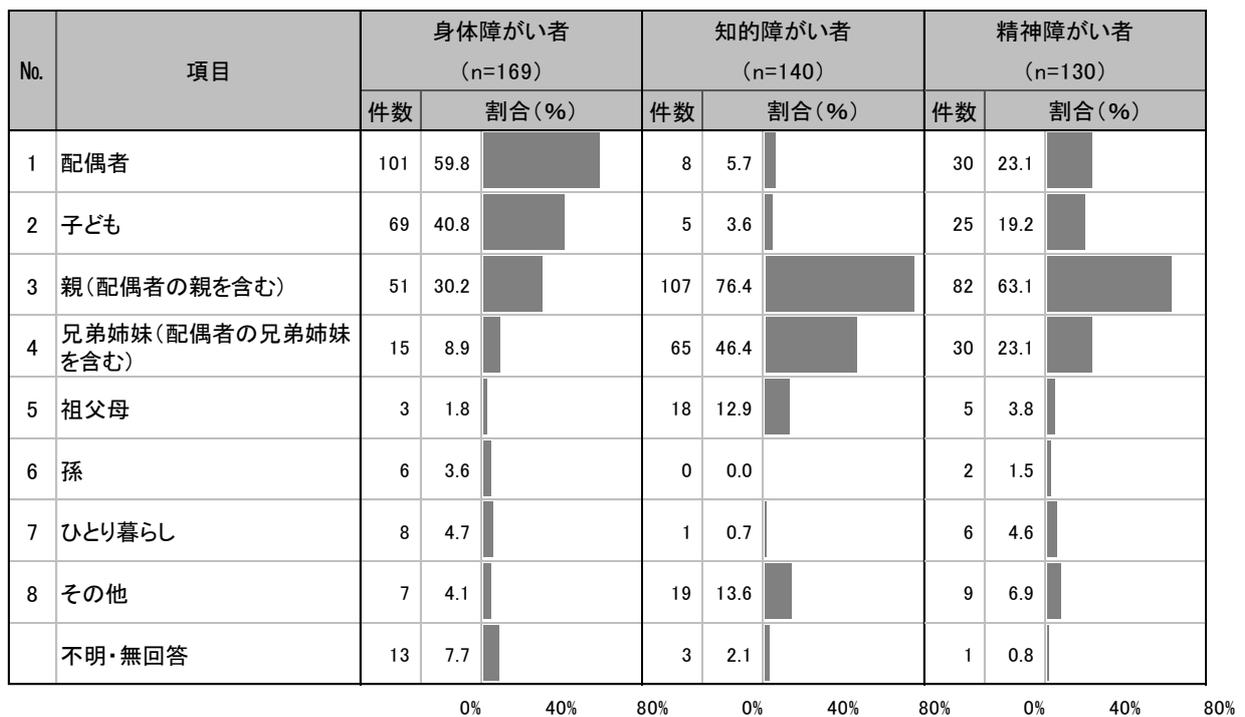
No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	男性	85	50.3	83	59.3	66	50.8
2	女性	73	43.2	55	39.3	62	47.7
	不明・無回答	11	6.5	2	1.4	2	1.5

■年齢



問3 同居している家族はどなたですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○調査対象者の同居家族については、知的障がい者と精神障がい者では「親(配偶者の親を含む)」がそれぞれ7割台後半と6割台前半で最も多くなっていますが、身体障がい者では「配偶者」が約6割で最も多くなっています。



問 4 現在のお住まいは次のどれですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○調査対象者の住まいをみると、三障がいともに「自宅(持家)」が7割台前半から8割台前半で、最も多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自宅(持家)	138	81.7	102	72.9	105	80.8
2	公営住宅・民間賃貸住宅・アパート	10	5.9	9	6.4	8	6.2
3	グループホーム	2	1.2	11	7.9	3	2.3
4	入所施設	6	3.6	4	2.9	0	0.0
5	その他	1	0.6	11	7.9	10	7.7
	不明・無回答	12	7.1	3	2.1	4	3.1

0% 50% 100% 0% 50% 100% 0% 50% 100%

問5 現在のお住まいはどの地区ですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○調査対象者の居住地区をみると、身体障がい者では「日吉台、杜ノ橋」、知的障がい者では「成田」、「明石台」、精神障がい者では「あけの平、とちの木、熊谷」が最も多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	町上、町中、町下、穀田、原	8	4.7	7	5.0	7	5.4
2	ひより台	13	7.7	3	2.1	6	4.6
3	太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田	7	4.1	4	2.9	6	4.6
4	今泉、大童、大亀、西成田、明石、石積	5	3.0	2	1.4	1	0.8
5	富ヶ丘	20	11.8	11	7.9	17	13.1
6	鷹乃杜	5	3.0	6	4.3	9	6.9
7	あけの平、とちの木、熊谷	19	11.2	17	12.1	21	16.2
8	日吉台、杜ノ橋	28	16.6	14	10.0	15	11.5
9	上桜木、大清水	10	5.9	13	9.3	5	3.8
10	成田	15	8.9	19	13.6	10	7.7
11	東向陽台	5	3.0	10	7.1	12	9.2
12	明石台	23	13.6	19	13.6	13	10.0
13	市外	0	0.0	11	7.9	4	3.1
	不明・無回答	11	6.5	4	2.9	4	3.1

問6 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。

- 調査対象の身体障がい者が所持する身体障害者手帳の等級をみると、「1級」が2割台後半で最も多く、次いで「2級」、「4級」が1割台後半となっています。
- 調査対象の身体障がい者の障がいの種類をみると、「下肢機能障害」が4割台前半で最も多く、次いで「上肢機能障害」が2割台前半、「心肺機能障害」が1割台前半となっています。
- 調査対象の知的障がい者が所持する療育手帳の等級については、「B」が6割台前半で「A」を上回っています。
- 調査対象の精神障がい者が所持する精神障害者保健福祉手帳の等級をみると、「2級」が4割台後半で最も多く、次いで「3級」が3割台後半、「1級」が1割未満となっています。

■所持する手帳の種類

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	身体障害者手帳	167	98.8	2	1.4	0	0.0
2	療育手帳	0	0.0	139	99.3	0	0.0
3	精神障害者保健福祉手帳	0	0.0	0	0.0	130	100.0
	不明・無回答	2	1.2	1	0.7	0	0.0

0% 50% 100% 0% 50% 100% 0% 50% 100%

■身体障害者手帳の等級

No.	項目	身体障がい者 (n=167)		知的障がい者 (n=0)		精神障がい者 (n=0)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1級	48	28.7	0	0.0	0	0.0
2	2級	31	18.6	0	0.0	0	0.0
3	3級	25	15.0	0	0.0	0	0.0
4	4級	28	16.8	0	0.0	0	0.0
5	5級	15	9.0	0	0.0	0	0.0
6	6級	8	4.8	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	12	7.2	0	0.0	0	0.0

0% 20% 40% 0% 20% 40% 0% 20% 40%

■身体障がい者の障がいの種類

No.	項目	身体障がい者 (n=167)		知的障がい者 (n=0)		精神障がい者 (n=0)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	視覚障害	5	3.0	0	0.0	0	0.0
2	聴覚障害	13	7.8	0	0.0	0	0.0
3	平衡機能障害	1	0.6	0	0.0	0	0.0
4	音声・言語・そしゃく	8	4.8	0	0.0	0	0.0
5	上肢機能障害	35	21.0	0	0.0	0	0.0
6	下肢機能障害	69	41.3	0	0.0	0	0.0
7	体幹機能障害	5	3.0	0	0.0	0	0.0
8	心肺機能障害	21	12.6	0	0.0	0	0.0
9	じん臓機能障害	8	4.8	0	0.0	0	0.0
10	呼吸器機能障害	2	1.2	0	0.0	0	0.0
11	ぼうこう・直腸機能障害	8	4.8	0	0.0	0	0.0
12	小腸機能障害	1	0.6	0	0.0	0	0.0
13	免疫機能障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14	肝臓機能障害	2	1.2	0	0.0	0	0.0
15	その他	5	3.0	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	28	16.8	0	0.0	0	0.0

0% 30% 60% 0% 30% 60% 0% 30% 60%

■療育手帳の等級

No.	項目	身体障がい者 (n=0)		知的障がい者 (n=137)		精神障がい者 (n=0)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	A	0	0.0	47	34.3	0	0.0
2	B	0	0.0	84	61.3	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0	6	4.4	0	0.0

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

■精神障害者保健福祉手帳の等級

No.	項目	身体障がい者 (n=0)		知的障がい者 (n=0)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1級	0	0.0	0	0.0	11	8.5
2	2級	0	0.0	0	0.0	62	47.7
3	3級	0	0.0	0	0.0	50	38.5
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0	7	5.4

0% 30% 60% 0% 30% 60% 0% 30% 60%

問7 次のうち、該当する収入がありますか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

- 調査対象者の収入の種類をみると、三障がいともに「障害年金」による収入が約4割から5割台前半で、多くなっています。
- 身体障がい者では「就労収入」が約4割で「障害年金」をわずかに上回っており、知的障がい者と精神障がい者では2割台で「障害年金」の次に多くなっています。
- 身体障がい者では「他の年金」、知的障がい者では「特別児童扶養手当」、精神障がい者では「家族の援助」がそれぞれ1割台後半で、「障害年金」と「就労収入」に次いで多くなっています。
- 三障がいともに約1割の方が「ない」と回答しています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	就労収入	69	40.8	40	28.6	32	24.6
2	障害年金	68	40.2	62	44.3	67	51.5
3	他の年金	27	16.0	2	1.4	12	9.2
4	特別児童扶養手当	5	3.0	24	17.1	2	1.5
5	特別障害者手当・障害児福祉手当等	6	3.6	10	7.1	0	0.0
6	家族等からの援助	7	4.1	11	7.9	21	16.2
7	生活保護	0	0.0	3	2.1	5	3.8
8	失業等給付	0	0.0	1	0.7	5	3.8
9	ない	18	10.7	19	13.6	13	10.0
10	その他	5	3.0	7	5.0	4	3.1
	不明・無回答	13	7.7	10	7.1	6	4.6

0% 30% 60% 0% 30% 60% 0% 30% 60%

障がいの状況や支援体制について

問 8 本人が障がいに気づいた(なった)きっかけは何ですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○本人が障がいに気づいたきっかけについては、三障がいともに「病院で医師から話があった」が最も多く、身体障がい者と精神障がい者では4割台、知的障がい者では2割台後半となっています。

○知的障がい者では「家族や周りの人から話があった」、「乳幼児健診」が「病院で医師から話があった」と同割合、「保育園・幼稚園・学校の先生から話があった」も2割台前半で、回答が多岐にわたっています。

○身体障がい者では「病気」が3割台前半、「事故・けが・災害」が1割台半ば、精神障がい者では「家族や周りの人から話があった」が3割台後半、「病気」が2割台後半で、「病院で医師から話があった」に次いで多くなっています。

○知的障がい者では「出生時にわかった」、精神障がい者では「本やインターネットを調べてわかった」が1割台後半で、他の障がいに比べて多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	家族や周りの人から話があった	8	4.7	37	26.4	47	36.2
2	乳幼児健診	6	3.6	37	26.4	2	1.5
3	就学時健康診断	2	1.2	7	5.0	0	0.0
4	会社等での健康診断	3	1.8	0	0.0	1	0.8
5	保育園・幼稚園・学校の先生や市職員から話があった	2	1.2	30	21.4	2	1.5
6	病院で医師から話があった	72	42.6	37	26.4	63	48.5
7	知人から話があった	0	0.0	1	0.7	5	3.8
8	出生時にわかった	12	7.1	23	16.4	2	1.5
9	事故・怪我・災害	26	15.4	0	0.0	6	4.6
10	病気	53	31.4	7	5.0	34	26.2
11	本やインターネットを調べてわかった	1	0.6	3	2.1	22	16.9
12	その他	9	5.3	8	5.7	17	13.1
	不明・無回答	13	7.7	8	5.7	3	2.3

0% 30% 60% 0% 30% 60% 0% 30% 60%

問9 障がいや発達不安等に気づいたとき、どこに相談しましたか。(あてはまる答えに○を3つまでつけてください。)

○相談先については、三障がいともに「医療機関」が最も多く、身体障がい者と精神障がい者ではそれぞれ6割台後半と約7割、知的障がい者では4割台後半、次いで「家族や親戚」が3割台前半から約4割となっています。

○知的障がい者では「児童相談所」が約2割で他の障がいに比べて多く、「特に相談しなかった」が1割未満で他の障がい比べて少なくなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	家族や親戚	54	32.0	47	33.6	53	40.8
2	近所の人・友人	6	3.6	7	5.0	9	6.9
3	医療機関	118	69.8	68	48.6	87	66.9
4	とみや子育て支援センター(とみここ)	2	1.2	14	10.0	0	0.0
5	教育委員会	0	0.0	0	0.0	1	0.8
6	障がい者等相談支援窓口	12	7.1	17	12.1	14	10.8
7	民生委員児童委員	1	0.6	1	0.7	1	0.8
8	障害者相談員(身体・知的)	2	1.2	8	5.7	1	0.8
9	保健所	2	1.2	6	4.3	6	4.6
10	学校	4	2.4	18	12.9	2	1.5
11	職場	14	8.3	2	1.4	6	4.6
12	児童相談所	1	0.6	27	19.3	1	0.8
13	障がい者団体	2	1.2	6	4.3	5	3.8
14	サービス提供事業所	3	1.8	10	7.1	4	3.1
15	市役所	13	7.7	23	16.4	15	11.5
16	特に相談しなかった	24	14.2	4	2.9	16	12.3
17	その他	6	3.6	9	6.4	8	6.2
	不明・無回答	8	4.7	13	9.3	5	3.8

問 10 早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

○適切な支援を受けるために必要なことについては、三障がいともに「専門家による相談体制の充実」が最も多く5割台後半から6割台後半、次いで「関連するサービスについての情報提供の充実」が4割から5割台前半となっています。

○知的障がい者では「乳幼児期の健康診断の充実」が4割台前半、精神障がい者では「電話・メールによる相談体制の充実」が2割台後半で、他の障がいに比べて多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	専門家による相談体制の充実	98	58.0	94	67.1	80	61.5
2	乳幼児期の健康診断の充実	26	15.4	59	42.1	7	5.4
3	電話・メールによる相談体制の充実	25	14.8	24	17.1	36	27.7
4	関連するサービスについての情報提供の充実	79	46.7	73	52.1	52	40.0
5	居宅訪問による相談や支援サービスの提供	31	18.3	47	33.6	37	28.5
6	特にない	19	11.2	5	3.6	17	13.1
7	その他	7	4.1	4	2.9	16	12.3
	不明・無回答	9	5.3	12	8.6	2	1.5

問 11 将来のことで不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

○将来のことで不安に思うことについては、身体障がい者と知的障がい者では「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」がそれぞれ4割前半と6割台半ば、精神障がい者では「支援者がいなくなった後の経済面について」が約6割で、最も多くなっています。

○身体障がい者と知的障がい者では「支援者がいなくなった後の経済面について」がそれぞれ3割前半と約6割、「自立した生活ができるか」がそれぞれ約3割と5割台半ばで、「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」に次いで多くなっています。

○精神障がい者では「自立した生活ができるか」が5割台後半、「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」が4割台後半で、「支援者がいなくなった後の経済面について」に次いで多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	進学のことについて	6	3.6	23	16.4	4	3.1
2	就職のことについて	22	13.0	47	33.6	49	37.7
3	友人や仲間、理解者がいるか	18	10.7	46	32.9	37	28.5
4	自立した生活ができるか	49	29.0	77	55.0	74	56.9
5	支援者がいなくなった後の住まいについて	40	23.7	73	52.1	46	35.4
6	支援者がいなくなった後の経済面について	54	32.0	83	59.3	77	59.2
7	支援者がいなくなった後の生活(家事・移動等)について	72	42.6	92	65.7	63	48.5
8	その他	19	11.2	10	7.1	16	12.3
	不明・無回答	28	16.6	11	7.9	5	3.8

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 12 18歳未満の方にお伺いします。支援体制について、さらに充実してほしいと思う点はありませんか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- 支援体制のさらに充実してほしい点については、身体障がい者と精神障がい者では「学習に対する支援」がそれぞれ6割台前半と10割、知的障がい者では「療育を行う施設の増設」が5割台後半で、最も多くなっています。
- 身体障がい者では「療育の内容や施設についての情報」が5割で「学習に対する支援」に次いで多くなっている他は、選択肢にある支援・サービスへの回答が1割台前半から3割台後半の間で多岐にわたっています。
- 知的障がい者では「費用に対する補助」も5割台後半で「療育を行う施設の増設」と並んで多く、さらに他の選択肢にある支援・サービスへの回答も3割台後半から5割台前半の間で多岐にわたっています。
- 精神障がい者では「身辺処理面やコミュニケーション能力向上など日常生活に対する支援」、「友達など人とのかかわり方に対する支援」、「費用に対する補助」が6割台後半で「学習に対する支援」に次いで多く、「保護者への支援」、「療育を行う施設の増設」、「療育の内容や施設についての情報」が同率で3割台前半となっています。
- 身体障がい者では「特にない」が2割台半ばで、他の障がいに比べて多くなっています。
- 三障がいともに「支援やサービスを受けなくてもよい」への回答はありませんでした。

No.	項目	身体障がい者 (n=8)		知的障がい者 (n=50)		精神障がい者 (n=3)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	身辺処理面やコミュニケーション能力向上など日常生活に対する支援	3	37.5	25	50.0	2	66.7
2	学習に対する支援	5	62.5	21	42.0	3	100.0
3	友達など人とのかかわり方に対する支援	3	37.5	18	36.0	2	66.7
4	保護者への支援	3	37.5	22	44.0	1	33.3
5	療養を行う施設の増設	2	25.0	29	58.0	1	33.3
6	費用に対する補助	1	12.5	28	56.0	2	66.7
7	送り迎えなど通園・通学に対するサービス	2	25.0	19	38.0	0	0.0
8	療育の内容や施設についての情報	4	50.0	26	52.0	1	33.3
9	預かりサービスの充実	2	25.0	25	50.0	0	0.0
10	支援やサービスを受けなくてもよい	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11	特にない	2	25.0	0	0.0	0	0.0
12	その他	0	0.0	2	4.0	1	33.3
	不明・無回答	0	0.0	3	6.0	0	0.0

生活の状況について

問 13 将来、生活の場をどこにしたいとお考えですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○将来の生活の場については、三障がいとも「自宅(持家)」が最も多くなっていますが、身体障がい者と精神障がい者ではそれぞれ約7割と6割であるのに対し、知的障がい者では3割前半と他の障がいに比べて低くなっています。

○身体障がい者と精神障がい者では「自宅(持家)」の回答の割合が突出しているのに対し、知的障がい者では「グループホーム」が3割で、「自宅(持家)」の回答の割合に近くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自宅(持家)	118	69.8	47	33.6	78	60.0
2	公営住宅・民間賃貸住宅・アパート	15	8.9	7	5.0	19	14.6
3	グループホーム	4	2.4	42	30.0	11	8.5
4	今は一緒に住んでいない家族や親戚の家	4	2.4	0	0.0	2	1.5
5	入所施設	18	10.7	18	12.9	8	6.2
6	その他	1	0.6	7	5.0	4	3.1
	不明・無回答	9	5.3	19	13.6	8	6.2

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 14 問 13 のような場所で暮らすためにはどのようなことが必要ですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○問 13 で回答した場所で暮らすために必要なことについては、身体障がい者では「家族の支援」が5割台前半、知的障がい者と精神障がい者では「経済的支援」がそれぞれ5割台半ばと5割台後半で、最も多くなっています。

○知的障がい者では「福祉的就労（就労支援事業所など）の場」、「日中活動（生活介護事業所、地域活動支援センターなど）の場」、「ホームヘルパーなど、家族以外の介護者」、「同じ障がいを持つ仲間」、精神障がい者では「一般就労（障害者雇用も含む）の場」、「医療機関の支援」が、他の障がいと比べて多くなっています。

○問 13 の将来の生活を希望する場所別にみると、身体障がい者で回答の多かった〈自宅（持家）〉では、「家族の支援」が最も多くなっています。また、知的障がい者で回答の多かった〈自宅（持家）〉では「家族の支援」、「経済的支援」が、〈グループホーム〉では「経済的支援」、「福祉的就労（就労支援事業所など）の場」、「ホームヘルパーなど、家族以外の介護者」、「医療機関の支援」が多くなっています。精神障がい者で回答の多かった〈自宅（持家）〉では「経済的支援」、「家族の支援」が多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	家族の支援	88	52.1	70	50.0	60	46.2
2	一般就労(障害者雇用も含む)の場	44	26.0	42	30.0	52	40.0
3	福祉的就労(就労支援事業所など)の場	19	11.2	54	38.6	30	23.1
4	日中活動(生活介護事業所、地域活動支援センターなど)の場	14	8.3	43	30.7	16	12.3
5	経済的支援	78	46.2	78	55.7	76	58.5
6	ホームヘルパーなど、家族以外の介護者	29	17.2	53	37.9	24	18.5
7	賃貸住宅に入居する場合に手続きなどを支援してくれる人	9	5.3	12	8.6	14	10.8
8	同じ障がいを持つ仲間	14	8.3	35	25.0	21	16.2
9	医療機関の支援	59	34.9	49	35.0	59	45.4
10	特にない	14	8.3	1	0.7	3	2.3
11	わからない	8	4.7	4	2.9	6	4.6
12	その他	4	2.4	10	7.1	8	6.2
	不明・無回答	7	4.1	10	7.1	3	2.3

問 14 暮らすために必要なこと × 問 13 将来の場所

		全体 (n)	家族の支援	一般就労(障害者雇用も含む)の場	福祉的就労(就労支援事業所など)の場	域活動支援センターなどの場	日中活動(生活介護事業所、地域活動支援センター)の場	経済的支援	ホームヘルパーなど、家族以外の介護者	賃貸住宅に入居する場合に手続きなどを支援してくれる人	同じ障がいを持つ仲間	医療機関の支援	特にない	わからない	その他	不明・無回答	
上段:件数 下段:割合(%)																	
身体障がい者	自宅(持家)	117 100.0	74 63.2	33 28.2	15 12.8	10 8.5	51 43.6	22 18.8	1 0.9	10 8.5	46 39.3	12 10.3	4 3.4	3 2.6			
	公営住宅・民間賃貸住宅・アパート	15 100.0	6 40.0	6 40.0	2 13.3	2 13.3	9 60.0	-	5 33.3	1 6.7	5 33.3	1 6.7	-	-	-	-	
	グループホーム	4 100.0	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-
	今は一緒に住んでいない家族や親戚の家	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-
	入所施設	18 100.0	4 22.2	3 16.7	1 5.6	1 5.6	12 66.7	5 27.8	2 11.1	2 11.1	5 27.8	-	-	2 11.1	-	-	-
	全体(割合)																
知的障がい者	自宅(持家)	47 100.0	36 76.6	22 46.8	17 36.2	10 21.3	32 68.1	17 36.2	1 2.1	6 12.8	12 25.5	-	-	2 4.3			
	公営住宅・民間賃貸住宅・アパート	7 100.0	5 71.4	3 42.9	2 28.6	-	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	-	-	1 14.3			
	グループホーム	42 100.0	12 28.6	10 23.8	25 59.5	21 50.0	27 64.3	24 57.1	5 11.9	18 42.9	24 57.1	-	-	-	3 7.1		
	今は一緒に住んでいない家族や親戚の家	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	入所施設	18 100.0	6 33.3	1 5.6	4 22.2	4 22.2	5 27.8	6 33.3	1 5.6	3 16.7	7 38.9	1 5.6	2 11.1	1 5.6			
	全体(割合)																
精神障がい者	自宅(持家)	78 100.0	46 59.0	33 42.3	19 24.4	9 11.5	47 60.3	13 16.7	2 2.6	12 15.4	35 44.9	2 2.6	2 2.6	4 5.1			
	公営住宅・民間賃貸住宅・アパート	19 100.0	4 21.1	12 63.2	3 15.8	1 5.3	14 73.7	1 5.3	9 47.4	-	4 21.1	-	-	-			
	グループホーム	11 100.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3	2 18.2	6 54.5	3 27.3	1 9.1	2 18.2	8 72.7	-	-	2 18.2	1 9.1		
	今は一緒に住んでいない家族や親戚の家	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-
	入所施設	8 100.0	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0	4 50.0	3 37.5	-	3 37.5	5 62.5	-	-	-	1 12.5		
	全体(割合)																

問 15 地域生活支援拠点等整備事業を知っていますか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○地域生活支援拠点等整備事業を知っているかについては、三障がいとも「知らない」が7割台半ばから8割台後半で、「知っている」を大きく上回っています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	20	11.8	24	17.1	12	9.2
2	知らない	140	82.8	104	74.3	114	87.7
	不明・無回答	9	5.3	12	8.6	4	3.1

0% 50% 100% 0% 50% 100% 0% 50% 100%

問 15-1 地域生活支援拠点等整備事業に望むことは何ですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○地域生活支援拠点等整備事業に望むことについては、身体障がい者と精神障がい者では「相談機能」がそれぞれ5割台半ばと5割台後半、知的障がい者では「緊急時の受け入れ・対応」が6割台半ばで、最も多くなっています。

○三障がいともに回答が多岐にわたっていますが、知的障がい者では「体験の機会・場の提供」が、他の障がいに比べて顕著に多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	相談機能	94	55.6	71	50.7	73	56.2
2	緊急時の受け入れ・対応	83	49.1	90	64.3	68	52.3
3	体験の機会・場の提供	24	14.2	56	40.0	31	23.8
4	専門的人材の確保・育成	53	31.4	68	48.6	49	37.7
5	地域の体制づくり	58	34.3	63	45.0	43	33.1
	不明・無回答	26	15.4	17	12.1	13	10.0

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 16 生きがいや楽しみのある生活のために行っていることは何ですか。(あてはまる答えに○を3つまでつけてください。)

○生きがいや楽しみのある生活のために行っていることについては、三障がいともに「外出（買い物・映画など）」が最も多く、身体障がい者と精神障がい者では4割台、知的障がい者では5割台後半となっています。

○身体障がい者では「趣味・習い事」、「働くこと」、「旅行・ドライブ」がそれぞれ約4割から3割台半ばで、「外出（買い物・映画など）」に次いで多くなっています。

○知的障がい者では「通所事業所などに行くこと」が4割台前半で、他の障がいに比べて顕著に多くなっています。

○精神障がい者では「趣味・習い事」が3割台後半で「外出（買い物・映画など）」に次いで多くなっているほか、「特にない」が1割台後半で、他の障がいと比べて多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	働くこと	61	36.1	34	24.3	30	23.1
2	通所事業所などに行くこと	9	5.3	60	42.9	20	15.4
3	趣味・習い事	66	39.1	40	28.6	49	37.7
4	運動	35	20.7	21	15.0	27	20.8
5	旅行・ドライブ	60	35.5	40	28.6	18	13.8
6	美容・おしゃれに関すること	19	11.2	11	7.9	13	10.0
7	外出(買い物・映画など)	74	43.8	81	57.9	60	46.2
8	友人・仲間と過ごすこと	49	29.0	33	23.6	26	20.0
9	町内会、育成会などの地域活動	5	3.0	6	4.3	3	2.3
10	ボランティア活動に参加すること	6	3.6	0	0.0	5	3.8
11	地域活動支援センター(休日余暇支援)活動に参加すること	4	2.4	12	8.6	5	3.8
12	特にない	10	5.9	7	5.0	21	16.2
13	その他	6	3.6	8	5.7	11	8.5
	不明・無回答	8	4.7	4	2.9	3	2.3

仕事について

問 17 仕事の状況についてお伺いします。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

- 仕事の状況については、身体障がい者と知的障がい者では「現在、仕事をしている（就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」がそれぞれ4割台後半と3割台半ば、精神障がい者では「現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない」が約4割で、最も多くなっています。
- 2番目、3番目に多い回答は、身体障がい者では「現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない」、「現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている（就労移行支援事業所に通っている場合を含む）」でそれぞれ2割台後半と1割未満、知的障がい者では「現在、就学児童のため仕事の見通しはまだない」、「現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない」でそれぞれ3割と1割台前半、精神障がい者では「現在、仕事をしている（就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」、「現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている（就労移行支援事業所に通っている場合を含む）」でそれぞれ約3割と2割となっており、障がいによって回答の傾向に違いがあります。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	現在、仕事をしている(就労継続支援事業所(A型・B型)を含む)	78	46.2	50	35.7	40	30.8
2	現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている(就労移行支援事業所に通っている場合を含む)	14	8.3	7	5.0	26	20.0
3	現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない	46	27.2	19	13.6	51	39.2
4	現在、就学児童のため仕事の見通しはまだない	7	4.1	42	30.0	2	1.5
5	その他	4	2.4	6	4.3	4	3.1
	不明・無回答	20	11.8	16	11.4	7	5.4

問 17 で「1」を選択した方

問 17-1 どのような形で就労していますか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○就労の形態については、身体障がい者では「会社などで正社員として働いている」が4割台後半、知的障がい者では「就労継続支援事業所（B型）で働いている」が5割台後半、精神障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている」が5割で、最も多くなっています。

○2番目、3番目に多い回答については、身体障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている」、「自営業を営んでいる（自営の手伝いも含む）」がそれぞれ3割台後半と1割未満、知的障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている」、「就労継続支援事業所（A型）で働いている」がそれぞれ2割台後半と1割、精神障がい者では「会社などで正社員として働いている」、「就労継続支援事業所（B型）で働いている」がそれぞれ2割台前半と1割台半ばとなっており、障がいによって回答の傾向に違いがみられます。

No.	項目	身体障がい者 (n=78)		知的障がい者 (n=50)		精神障がい者 (n=40)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	会社などで正社員として働いている	36	46.2	3	6.0	9	22.5
2	会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている	30	38.5	13	26.0	20	50.0
3	自営業を営んでいる(自営の手伝いも含む)	6	7.7	0	0.0	1	2.5
4	就労継続支援事業所(A型)で働いている	1	1.3	5	10.0	3	7.5
5	就労継続支援事業所(B型)で働いている	2	2.6	28	56.0	6	15.0
6	その他	2	2.6	1	2.0	0	0.0
	不明・無回答	1	1.3	0	0.0	1	2.5

問 17 で「1」を選択した方

問 17-2 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまる答えに○を3つまでつけてください。)

- 仕事上の悩みや困り事については、「特にない」を除くと三障がいともに「収入が少ない」が最も多く、身体障がい者では3割台半ば、知的障がい者と精神障がい者ではそれぞれ5割と4割台後半となっています。
- 身体障がい者では「特にない」が4割台前半で、最も多くなっています。
- 知的障がい者では「職場までの通勤が大変」が2割台半ばで他の障がいに比べて多く、「病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」が1割未満で他の障がいに比べて少なくなっています。
- 精神障がい者では「病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」が2割台後半、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」が2割、「病気・障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある」が1割台後半で他の障がいに比べて多く、「特にない」が1割台前半で他の障がいに比べて顕著に少なくなっています。
- 就労の形態（問 17-1）別にみると、それぞれの障がいの〈パート、アルバイト、臨時雇用や契約社員〉や知的障がい者の〈就労継続支援事業所（B型）〉では「収入が少ない」が、精神障がい者の〈パート、アルバイト、臨時雇用や契約社員〉では「病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」が高くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=78)		知的障がい者 (n=50)		精神障がい者 (n=40)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	収入が少ない	28	35.9	25	50.0	19	47.5
2	職場までの通勤がたいへん	11	14.1	12	24.0	5	12.5
3	病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい	13	16.7	3	6.0	11	27.5
4	職場でのコミュニケーションがうまくとれない	3	3.8	6	12.0	8	20.0
5	仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん	8	10.3	1	2.0	4	10.0
6	通院や病気・障がいを理由に休みを取ることが難しい	10	12.8	0	0.0	5	12.5
7	病気・障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある	6	7.7	0	0.0	7	17.5
8	特にない	33	42.3	18	36.0	5	12.5
9	その他	0	0.0	7	14.0	5	12.5
	不明・無回答	4	5.1	2	4.0	1	2.5

問 17-2 仕事上の悩みや困り事 × 問 17-1 就労の形態

上段:件数 下段:割合(%)		全体(n)	収入が少ない	職場までの通勤がたいへん	病気がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい	職場でのコミュニケーションがうまくとれない	仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん	通院や病気がいを理由に休みを取ることが難しい	病気がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある	特にない	その他	不明・無回答	
身体障がい者	正社員	36 100.0	5 13.9	5 13.9	5 13.9	1 2.8	5 13.9	5 13.9	1 2.8	19 52.8	-	-	
	パート、アルバイト、臨時雇用や契約社員	30 100.0	18 60.0	6 20.0	6 20.0	2 6.7	2 6.7	5 16.7	4 13.3	9 30.0	-	2 6.7	
	自営業を営んでいる	6 100.0	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-	-	-	3 50.0	-	1 16.7
	就労継続支援事業所(A型)	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	就労継続支援事業所(B型)	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	
知的障がい者	正社員	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	3 100.0	1 33.3	-	
	パート、アルバイト、臨時雇用や契約社員	13 100.0	6 46.2	4 30.8	1 7.7	4 30.8	-	-	-	3 23.1	2 15.4	-	
	自営業を営んでいる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	就労継続支援事業所(A型)	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	-	-	3 60.0	-	-	
	就労継続支援事業所(B型)	28 100.0	18 64.3	5 17.9	2 7.1	2 7.1	1 3.6	-	-	9 32.1	4 14.3	2 7.1	
精神障がい者	正社員	9 100.0	3 33.3	1 11.1	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	2 22.2	-	-	
	パート、アルバイト、臨時雇用や契約社員	20 100.0	11 55.0	2 10.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	-	
	自営業を営んでいる	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	就労継続支援事業所(A型)	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	-	
	就労継続支援事業所(B型)	6 100.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	

問 17 で「2」を選択した方

問 17-3 今後、どのような就労を希望しますか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

- 希望する就労については、身体障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」が3割台半ば、知的障がい者と精神障がい者では「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」がそれぞれ7割台前半と3割台後半で、最も多くなっています。
- 2番目に多い回答は、身体障がい者と知的障がい者では「会社などで正社員として働きたい」でそれぞれ2割台前半と2割台後半、精神障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」で3割台前半となっています。
- 身体障がい者では「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」、知的障がい者では「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」への回答がなく、他の障がいと比べて顕著に少なくなっています。
- 身体障がい者では「その他」、精神障がい者では「自営業を営みたい」への回答があり、他の障がいに比べて多くなっています。
- 身体障がい者では「不明・無回答」が3割台半ばで、他の障がいに比べて顕著に多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=14)		知的障がい者 (n=7)		精神障がい者 (n=26)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	会社などで正社員として働きたい	3	21.4	2	28.6	4	15.4
2	会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい	5	35.7	0	0.0	9	34.6
3	自営業を営みたい	0	0.0	0	0.0	2	7.7
4	就労継続支援事業所(A型・B型)で働きたい	0	0.0	5	71.4	10	38.5
5	その他	1	7.1	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	5	35.7	0	0.0	1	3.8

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 17 で「3」を選択した方

問 17-4 就労を希望しない理由は何ですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○就労を希望しない理由については、三障がいともに「障がい・病気の症状のため」が最も多く、身体障がい者では5割台後半、知的障がい者では6割台前半、精神障がい者では約4割、次いで「高齢のため」がそれぞれ1割未満、1割台半ば、1割台後半となっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=46)		知的障がい者 (n=19)		精神障がい者 (n=51)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	障がいを理由に採用を断られたことがあり諦めているため	1	2.2	0	0.0	1	2.0
2	障がい・病気の症状のため	27	58.7	12	63.2	20	39.2
3	高齢のため	4	8.7	3	15.8	9	17.6
4	定期収入(障害年金・不動産収入等)があるため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	預貯金があるため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	働くための技術や知識がないため	2	4.3	0	0.0	4	7.8
7	就職の仕方が分からないため	0	0.0	1	5.3	1	2.0
8	働く意欲がないため	1	2.2	2	10.5	4	7.8
9	その他	4	8.7	0	0.0	4	7.8
	不明・無回答	7	15.2	1	5.3	8	15.7

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 17 で「4」を選択した方

問 17-5 将来、高等学校などを卒業した後の進路について、希望するものはどれですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

- 高等学校などの卒業後の進路の希望については、身体障がい者では「迷っている・わからない」が7割台前半、「大学や専門学校へ進学したい」が2割台後半、精神障がい者では「大学や専門学校へ進学したい」と「迷っている・わからない」がそれぞれ5割となっています。
- 知的障がい者では「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」が3割台前半で最も多く、次いで「迷っている・わからない」が2割台前半、「会社などで正社員として働きたい」が約2割となっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=7)		知的障がい者 (n=42)		精神障がい者 (n=2)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	大学や専門学校へ進学したい	2	28.6	3	7.1	1	50.0
2	会社などで正社員として働きたい	0	0.0	8	19.0	0	0.0
3	会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	自営業を営みたい	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	就労継続支援事業所(A型・B型)で働きたい	0	0.0	14	33.3	0	0.0
6	その他	0	0.0	4	9.5	0	0.0
7	迷っている・わからない	5	71.4	9	21.4	1	50.0
	不明・無回答	0	0.0	4	9.5	0	0.0

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 18 仕事を選ぶために特に大切だと思うことは何ですか。(あてはまる答えに○を3つまでつけてください。)

○仕事を選ぶために特に大切だと思うことについては、身体障がい者と精神障がい者では「生活できる十分な賃金」が5割台後半と6割台後半、知的障がい者では「能力にあった仕事」が6割台前半で、最も多くなっています。

○身体障がい者では「体調に合った勤務体制」が約5割、「交通手段の確保」、「能力にあった仕事」、「やりがいのある仕事」が2割台後半、知的障がい者では「生活できる十分な賃金」、「ジョブコーチなどによる支援」が4割台半ば、「交通手段の確保」が約4割、精神障がい者では「体調に合った勤務体制」が5割台前半、「能力にあった仕事」が4割台前半、「交通手段の確保」が約3割の回答となっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	生活できる十分な賃金	96	56.8	64	45.7	86	66.2
2	体調にあった勤務体制	85	50.3	33	23.6	70	53.8
3	ジョブコーチなどによる支援	21	12.4	62	44.3	25	19.2
4	能力にあった仕事	45	26.6	89	63.6	54	41.5
5	職業訓練(職業リハビリテーション)	8	4.7	19	13.6	13	10.0
6	日常生活の援助	11	6.5	23	16.4	10	7.7
7	交通手段の確保	46	27.2	57	40.7	38	29.2
8	パソコンなどの技術習得	17	10.1	6	4.3	5	3.8
9	点字による情報支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10	手話通訳や要約筆記サービス	5	3.0	2	1.4	0	0.0
11	拡大読書器やキーボード補助具など	3	1.8	1	0.7	0	0.0
12	職場のバリアフリー設備	22	13.0	5	3.6	2	1.5
13	福利厚生の実施	17	10.1	12	8.6	17	13.1
14	やりがいのある仕事	44	26.0	20	14.3	27	20.8
15	フレックスタイムの導入	15	8.9	3	2.1	12	9.2
16	わからない	9	5.3	7	5.0	13	10.0
17	その他	5	3.0	5	3.6	7	5.4
	不明・無回答	8	4.7	8	5.7	2	1.5

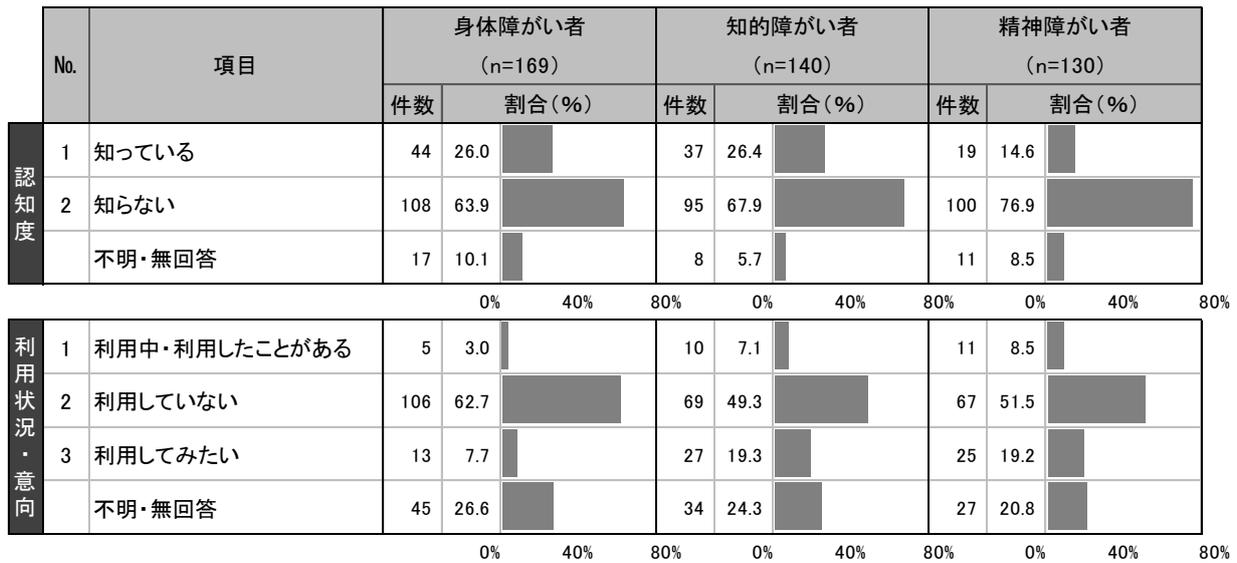
問 19 以下の就労を支援する関係機関を知っていますか。また利用してみたいと思いますか。(あてはまる答えにそれぞれ、○を1つずつつけてください。)

- 就労を支援する関係機関を知っているかについては、三障がいともに「知っている」が「知らない」を大きく上回っている場合、知的障がい者のみ「知っている」が「知らない」を上回っている場合に大別することができます。
- 「公共職業安定所（ハローワーク）」、「富谷市役所」は、三障がいともに「知っている」が7～8割台で、「知らない」を大きく上回っています。
- 「障がい者就業・生活支援センターわ〜く」、「宮城障害者職業センター」は、三障がいともに「知らない」が6割以上で、「知っている」を大きく上回っています。
- 「ぱれっと・よしおか」、「富谷市障がい者等相談支援窓口」、「計画相談事業所」は、知的障がい者では「知っている」がそれぞれ4割台後半、5割台半ば、約5割と「知らない」を上回っていますが、それ以外の障がいでは「知らない」がそれぞれ7割前後、5割台後半、約8割で、「知っている」を大きく上回っています。
- 就労を支援する関係機関の利用状況については、三障がいともに「富谷市役所」は「利用したことがある」が5割台で、「利用したことがない」を大きく上回っています。
- それ以外の機関については、身体障がい者と精神障がい者では「公共職業安定所（ハローワーク）」、知的障がい者では「計画相談事業所」で「利用中・利用したことがある」が「利用していない」を上回っているほかは、「利用していない」が「利用中・利用したことがある」を大きく上回っています。
- 関係機関の利用意向については、すでに利用しているという回答の多い「富谷市役所」を除くと、どの機関へも「利用してみたい」への回答が1割台未満から1割半ばとなっています。

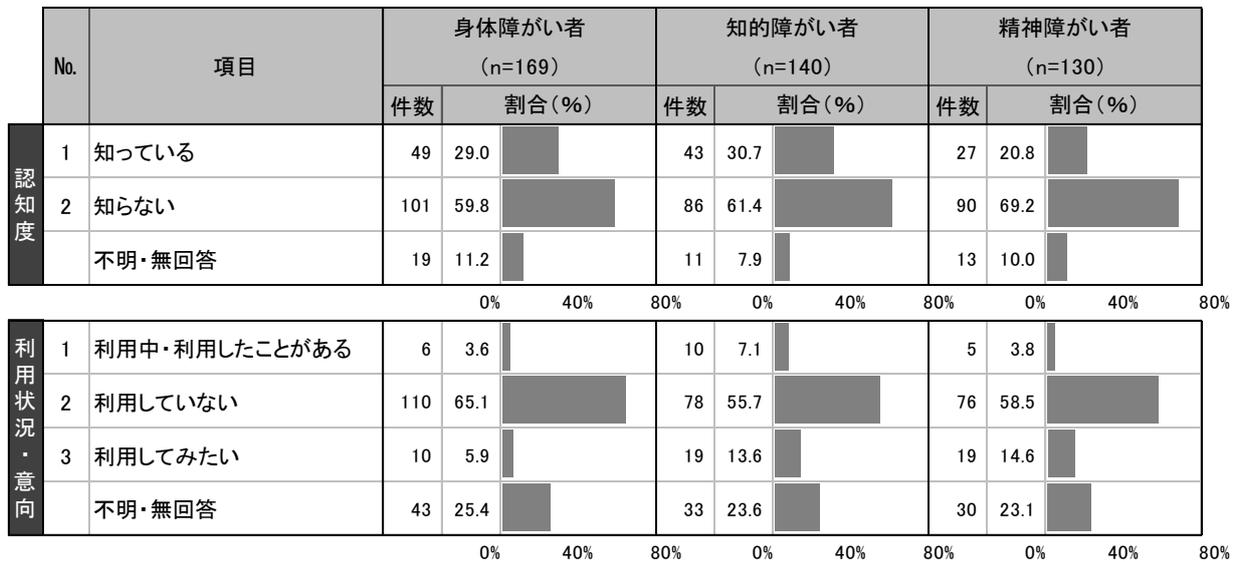
■公共職業安定所（ハローワーク）

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	147	87.0	104	74.3	110	84.6
	2 知らない	7	4.1	26	18.6	10	7.7
	不明・無回答	15	8.9	10	7.1	10	7.7
利用状況・意向	1 利用中・利用したことがある	79	46.7	18	12.9	68	52.3
	2 利用していない	55	32.5	82	58.6	33	25.4
	3 利用してみたい	7	4.1	14	10.0	9	6.9
	不明・無回答	28	16.6	26	18.6	20	15.4

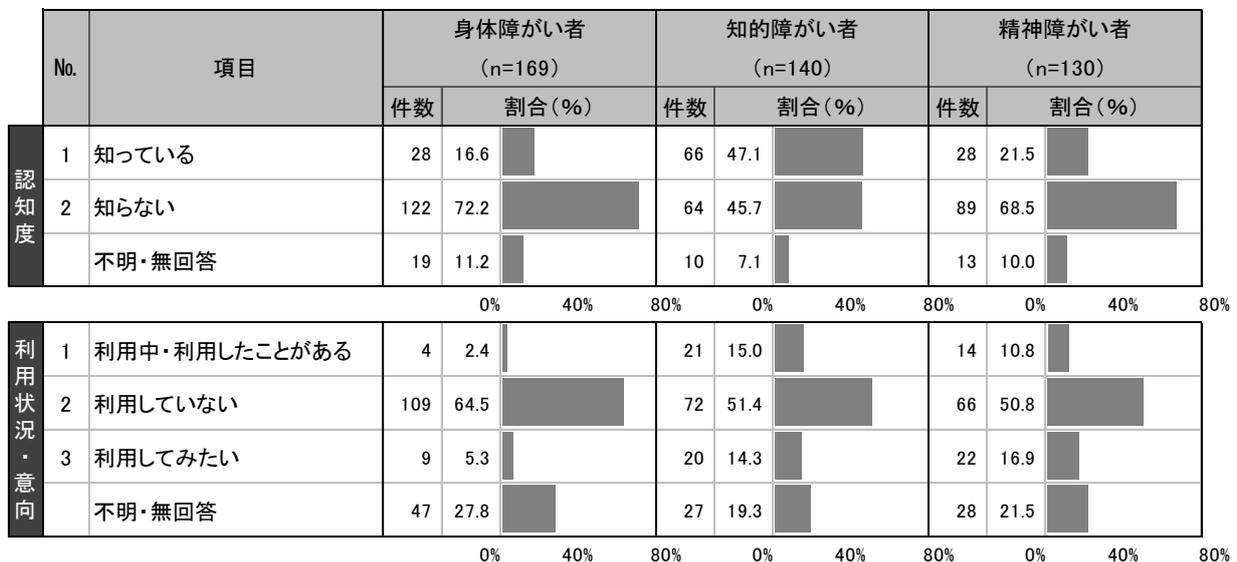
■障害者就業・生活支援センターわ〜く



■宮城障害者職業センター



■地域支援センター「ぱれっと・よしおか」



■富谷市障がい者等相談支援窓口

	No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
			件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1	知っている	53	31.4	76	54.3	43	33.1
	2	知らない	98	58.0	53	37.9	74	56.9
		不明・無回答	18	10.7	11	7.9	13	10.0
利用状況・意向	1	利用中・利用したことがある	12	7.1	20	14.3	16	12.3
	2	利用していない	101	59.8	64	45.7	59	45.4
	3	利用してみたい	17	10.1	27	19.3	24	18.5
		不明・無回答	39	23.1	29	20.7	31	23.8

■計画相談事業所

	No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
			件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1	知っている	136	80.5	70	50.0	17	13.1
	2	知らない	15	8.9	55	39.3	98	75.4
		不明・無回答	18	10.7	15	10.7	15	11.5
利用状況・意向	1	利用中・利用したことがある	4	2.4	51	36.4	9	6.9
	2	利用していない	110	65.1	50	35.7	73	56.2
	3	利用してみたい	6	3.6	9	6.4	17	13.1
		不明・無回答	49	29.0	30	21.4	31	23.8

■富谷市役所

	No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
			件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1	知っている	136	80.5	119	85.0	110	84.6
	2	知らない	15	8.9	9	6.4	9	6.9
		不明・無回答	18	10.7	12	8.6	11	8.5
利用状況・意向	1	利用中・利用したことがある	88	52.1	79	56.4	77	59.2
	2	利用していない	43	25.4	21	15.0	18	13.8
	3	利用してみたい	7	4.1	10	7.1	13	10.0
		不明・無回答	31	18.3	30	21.4	22	16.9

外出について

問 20 ふだん、どれくらいの頻度で外出していますか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○ふだんの外出の頻度については、三障がいともに「ほとんど毎日」が最も多く、身体障がい者では4割台後半、知的障がい者では5割台後半、精神障がい者では3割台前半となっています。

○2番目、3番目に多い回答は、身体障がい者では「週に2～3日程度」、「週に4～5日程度」でそれぞれ約2割と1割台後半、知的障がい者では「週に4～5日程度」、「月に1～3日程度」でそれぞれ1割台後半と約1割、精神障がい者では「週に4～5日程度」、「週に2～3日程度」でそれぞれ2割台半ばと1割台後半となっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	ほとんど毎日	80	47.3	79	56.4	42	32.3
2	週に4～5日程度	30	17.8	26	18.6	32	24.6
3	週に2～3日程度	33	19.5	6	4.3	24	18.5
4	月に4～5日程度	8	4.7	4	2.9	6	4.6
5	月に1～3日程度	10	5.9	15	10.7	14	10.8
6	外出しない(できない)	3	1.8	5	3.6	7	5.4
	不明・無回答	5	3.0	5	3.6	5	3.8

0% 30% 60% 0% 30% 60% 0% 30% 60%

問 20 で「6」を選択した方

問 20-1 外出しない(できない)理由はなぜですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○外出しない(できない)理由については、身体障がい者では「送迎してくれる人がいないから」、「付き添いがいないから」が 2 件、「体調が悪いから」、「目的地がバリアフリーでないから」が 1 件、知的障がい者では「送迎してくれる人がいないから」、「付き添いがいないから」が 2 件、精神障がい者では「体調が悪いから」が 4 件、「人に会いたくないから」が 3 件、「疲れているから」が 2 件、「付き添いがいないから」、「お金がかかるから」が 1 件となっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=3)		知的障がい者 (n=5)		精神障がい者 (n=7)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	送迎してくれる人がいないから	2	66.7	2	40.0	0	0.0
2	付き添いがいないから	2	66.7	2	40.0	1	14.3
3	バスの時間が合わないから	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	お金がかかるから	0	0.0	0	0.0	1	14.3
5	疲れているから	0	0.0	0	0.0	2	28.6
6	体調が悪いから	1	33.3	0	0.0	4	57.1
7	目的地がバリアフリーでないから	1	33.3	0	0.0	0	0.0
8	人に会いたくないから	0	0.0	0	0.0	3	42.9
9	その他	1	33.3	3	60.0	3	42.9
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 21 外出する際の主な目的は何ですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○外出する際の主な目的については、三障がいともに「買い物」が最も多く、身体障がい者と精神障がい者では約7割、知的障がい者では6割後半となっています。また、精神障がい者では「医療機関への通院」も同数となっています。

○2番目に多い回答をみると、身体障がいでは「医療機関への通院」で5割台半ば、知的障がい者では「通学・通所」で5割台前半、精神障がい者では「仕事」で2割台前半となっています。

○「買い物」以外で三障がい全てにおいて一定以上の回答があった「仕事」、「通学・通所」、「医療機関への通院」をみると、身体障がい者では「仕事」、知的障がい者では「通学・通所」、精神障がい者では「医療機関への通院」が、他の障がいに比べて多くなっています。

○三障がいともに「旅行・ドライブ」への回答が2割台前半から約3割あります。

No.	項目	身体障がい者 (n=161)		知的障がい者 (n=130)		精神障がい者 (n=118)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	買い物	113	70.2	88	67.7	82	69.5
2	仕事	68	42.2	29	22.3	35	29.7
3	通学、通所	18	11.2	69	53.1	22	18.6
4	医療機関への通院	89	55.3	47	36.2	82	69.5
5	子どもや孫の家などへの訪問	8	5.0	1	0.8	0	0.0
6	友人の家への訪問	21	13.0	9	6.9	8	6.8
7	旅行・ドライブ	46	28.6	40	30.8	27	22.9
8	地域の活動や余暇活動など	11	6.8	22	16.9	6	5.1
9	その他	16	9.9	9	6.9	22	18.6
	不明・無回答	20	12.4	12	9.2	9	7.6

問 22 最もよく行くのは、どの地域ですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○最もよく行く地域については、三障がいともに「市内」が最も多く、身体障がい者では3割台前半、知的障がい者と精神障がい者では4割台後半と4割台半ば、次いで「仙台市（泉区）」、「仙台市（泉区以外）」となっています。

○身体障がい者では「市内」、「仙台市（泉区）」、「仙台市（泉区以外）」の回答の割合の差が1割未満にとどまっているのに対し、知的障がい者と精神障がい者では「市内」とそれ以外の選択肢の回答の割合の差が2割以上あり、「市内」の回答の割合が多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=161)		知的障がい者 (n=130)		精神障がい者 (n=118)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	市内	51	31.7	62	47.7	54	45.8
2	仙台市(泉区)	37	23.0	10	7.7	15	12.7
3	仙台市(泉区以外)	22	13.7	9	6.9	15	12.7
4	大和町方面	9	5.6	7	5.4	9	7.6
5	利府町方面	1	0.6	6	4.6	0	0.0
6	その他の地域	5	3.1	6	4.6	4	3.4
	不明・無回答	36	22.4	30	23.1	21	17.8

問 23 外出する際に利用する主な交通手段は何ですか。(あてはまる答えに○を3つまでつけてください。)

- 外出する際に利用する主な交通手段は、身体障がい者では「自家用車（自分で運転する）」が5割台前半、知的障がい者では「家族による送迎」が5割台後半、精神障がい者では「路線バス」が約4割で最も多くなっており、障がいによって回答の傾向に違いがあります。
- 2番目、3番目に多い回答は、身体障がい者では「家族による送迎」、「路線バス」でそれぞれ2割台半ばと2割台前半、知的障がい者では「施設送迎」、「路線バス」でそれぞれ3割台前半と2割台前半、精神障がい者では「家族による送迎」、「自家用車（自分で運転する）」でそれぞれ3割台後半と2割台後半となっています。
- 年齢別にみると、「家族による送迎」は、身体障がい者、精神障がい者で未成年及び30～50歳代で多くなる傾向があります。
- 居住地区別にみると、「路線バス」は、各地区での利用がみられます。三障がいを合計すると、とくに、「成田」、「東向陽台」、「太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田」で多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=161)		知的障がい者 (n=130)		精神障がい者 (n=118)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自家用車(自分で運転する)	85	52.8	16	12.3	34	28.8
2	タクシー	18	11.2	8	6.2	8	6.8
3	路線バス	36	22.4	30	23.1	48	40.7
4	富谷市民バス	9	5.6	19	14.6	20	16.9
5	家族による送迎	41	25.5	73	56.2	45	38.1
6	隣近所の友人・知人による送迎	5	3.1	1	0.8	1	0.8
7	介護タクシー	4	2.5	0	0.0	0	0.0
8	施設送迎	14	8.7	42	32.3	7	5.9
9	その他	13	8.1	16	12.3	22	18.6
	不明・無回答	19	11.8	12	9.2	10	8.5

問 23 外出する際に利用する主な交通手段 × 問 2 年齢・問 4 居住地区

上段:件数 下段:割合(%)		全体 (n)	自家用車 (自分で運転する)	タクシー	路線バス	富谷市民バス	家族による送迎	隣近所の友人・知人 による送迎	介護タクシー	施設送迎	その他	不明・無回答	
身体障がい者	10 歳未満	5 100.0	- -	- -	- -	- -	3 60.0	- -	- -	- -	1 20.0	1 20.0	
	10 歳代	3 100.0	- -	- -	1 33.3	- -	2 66.7	- -	- -	- -	2 66.7	- -	
	20 歳代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	
	30 歳代	9 100.0	6 66.7	- -	- -	- -	2 22.2	- -	- -	2 22.2	- -	- -	
	40 歳代	22 100.0	13 59.1	3 13.6	4 18.2	- -	5 22.7	- -	- -	1 4.5	- -	3 13.6	
	50 歳代	52 100.0	30 57.7	4 7.7	10 19.2	2 3.8	12 23.1	1 1.9	- -	3 5.8	5 9.6	8 15.4	
	60 歳以上	56 100.0	33 58.9	8 14.3	16 28.6	5 8.9	14 25.0	3 5.4	3 5.4	6 10.7	3 5.4	3 5.4	
	町上、町中、町下、穀 田、原	8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	2 25.0	- -	- -	2 25.0
	ひより台	13 100.0	7 53.8	1 7.7	1 7.7	- -	4 30.8	- -	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4	
	太子堂、一ノ関、二ノ 関、三ノ関、志戸田	7 100.0	5 71.4	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	- -	- -	- -	2 28.6
	今泉、大童、大亀、西 成田、明石、石積	5 100.0	4 80.0	- -	- -	- -	3 60.0	1 20.0	- -	- -	- -	- -	
	富ヶ丘	20 100.0	12 60.0	3 15.0	6 30.0	- -	7 35.0	- -	- -	2 10.0	1 5.0	2 10.0	
	鷹乃杜	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	- -	- -	
	あけの平、とちの木、 熊谷	17 100.0	7 41.2	3 17.6	6 35.3	3 17.6	6 35.3	1 5.9	- -	- -	- -	- -	1 5.9
	日吉台、杜ノ橋	26 100.0	16 61.5	3 11.5	5 19.2	1 3.8	7 26.9	- -	1 3.8	4 15.4	2 7.7	1 3.8	
	上桜木、大清水	9 100.0	6 66.7	- -	3 33.3	- -	2 22.2	- -	- -	1 11.1	3 33.3	- -	
	成田	14 100.0	9 64.3	1 7.1	2 14.3	- -	2 14.3	1 7.1	1 7.1	- -	2 14.3	2 14.3	
	東向陽台	5 100.0	3 60.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 20.0
	明石台	22 100.0	8 36.4	1 4.5	6 27.3	1 4.5	4 18.2	- -	1 4.5	2 9.1	3 13.6	4 18.2	

上段:件数 下段:割合(%)		全体(人)	自家用車 (自分で運転する)	タクシー	路線バス	富谷市民バス	家族による送迎	隣近所の友人・知人 による送迎	介護タクシー	施設送迎	その他	不明・無回答
知的障がい者	10歳未満	16 100.0	2 12.5	-	1 6.3	-	11 68.8	-	-	3 18.8	-	3 18.8
	10歳代	38 100.0	5 13.2	-	3 7.9	1 2.6	24 63.2	-	-	14 36.8	7 18.4	5 13.2
	20歳代	28 100.0	4 14.3	2 7.1	8 28.6	6 21.4	12 42.9	-	-	11 39.3	5 17.9	2 7.1
	30歳代	18 100.0	2 11.1	1 5.6	4 22.2	2 11.1	11 61.1	1 5.6	-	5 27.8	4 22.2	1 5.6
	40歳代	17 100.0	2 11.8	3 17.6	9 52.9	6 35.3	12 70.6	-	-	1 5.9	-	-
	50歳代	4 100.0	-	-	3 75.0	2 50.0	1 25.0	-	-	3 75.0	-	-
	60歳代	4 100.0	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	3 75.0	-	-
	70歳以上	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0
	町上、町中、町下、穀 田、原	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-	-	-	1 16.7	1 16.7	-
	ひより台	3 100.0	-	-	1 33.3	-	3 100.0	-	-	2 66.7	-	-
	太子堂、一ノ関、二ノ 関、三ノ関、志戸田	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	-	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-
	今泉、大童、大亀、西 成田、明石、石積	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	富ヶ丘	10 100.0	-	-	3 30.0	2 20.0	8 80.0	-	-	6 60.0	-	-
	鷹乃杜	6 100.0	2 33.3	-	3 50.0	1 16.7	4 66.7	-	-	2 33.3	1 16.7	-
	あけの平、とちの木、 熊谷	15 100.0	3 20.0	-	3 20.0	2 13.3	9 60.0	-	-	2 13.3	4 26.7	1 6.7
	日吉台、杜ノ橋	14 100.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	5 35.7	8 57.1	-	-	3 21.4	2 14.3	2 14.3
	上桜木、大清水	13 100.0	1 7.7	1 7.7	4 30.8	3 23.1	10 76.9	-	-	3 23.1	1 7.7	2 15.4
	成田	19 100.0	1 5.3	-	3 15.8	1 5.3	12 63.2	-	-	3 15.8	4 21.1	2 10.5
	東向陽台	9 100.0	2 22.2	1 11.1	3 33.3	2 22.2	4 44.4	-	-	3 33.3	-	-
	明石台	18 100.0	1 5.6	-	3 16.7	2 11.1	11 61.1	1 5.6	-	7 38.9	2 11.1	3 16.7

上段:件数 下段:割合(%)		全体(人)	自家用車 (自分で運転する)	タクシー	路線バス	富谷市民バス	家族による送迎	隣近所の友人・知人 による送迎	介護タクシー	施設送迎	その他	不明・無回答
精神障がい者	10歳未満	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	10歳代	4 100.0	- -	- -	3 75.0	- -	2 50.0	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0
	20歳代	10 100.0	2 20.0	- -	7 70.0	- -	6 60.0	- -	- -	- -	3 30.0	- -
	30歳代	28 100.0	9 32.1	- -	14 50.0	4 14.3	15 53.6	- -	- -	- -	4 14.3	3 10.7
	40歳代	38 100.0	14 36.8	3 7.9	14 36.8	6 15.8	11 28.9	- -	- -	- -	7 18.4	2 5.3
	50歳代	15 100.0	4 26.7	1 6.7	5 33.3	3 20.0	3 20.0	- -	- -	1 6.7	2 13.3	3 20.0
	60歳代	14 100.0	2 14.3	2 14.3	5 35.7	3 21.4	2 14.3	- -	- -	3 21.4	3 21.4	2 14.3
	70歳以上	9 100.0	3 33.3	1 11.1	1 11.1	4 44.4	4 44.4	1 11.1	- -	3 33.3	2 22.2	- -
	町上、町中、町下、穀田、原	4 100.0	- -	- -	3 75.0	- -	2 50.0	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0
	ひより台	10 100.0	2 20.0	- -	7 70.0	- -	6 60.0	- -	- -	- -	3 30.0	- -
	太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田	28 100.0	9 32.1	- -	14 50.0	4 14.3	15 53.6	- -	- -	- -	4 14.3	3 10.7
	今泉、大童、大亀、西成田、明石、石積	38 100.0	14 36.8	3 7.9	14 36.8	6 15.8	11 28.9	- -	- -	- -	7 18.4	2 5.3
	富ヶ丘	15 100.0	4 26.7	1 6.7	5 33.3	3 20.0	3 20.0	- -	- -	1 6.7	2 13.3	3 20.0
	鷹乃杜	14 100.0	2 14.3	2 14.3	5 35.7	3 21.4	2 14.3	- -	- -	3 21.4	3 21.4	2 14.3
	あけの平、とちの木、熊谷	9 100.0	3 33.3	1 11.1	1 11.1	4 44.4	4 44.4	1 11.1	- -	3 33.3	2 22.2	- -
	日吉台、杜ノ橋	4 100.0	- -	- -	3 75.0	- -	2 50.0	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0
	上桜木、大清水	10 100.0	2 20.0	- -	7 70.0	- -	6 60.0	- -	- -	- -	3 30.0	- -
	成田	28 100.0	9 32.1	- -	14 50.0	4 14.3	15 53.6	- -	- -	- -	4 14.3	3 10.7
	東向陽台	38 100.0	14 36.8	3 7.9	14 36.8	6 15.8	11 28.9	- -	- -	- -	7 18.4	2 5.3
	明石台	15 100.0	4 26.7	1 6.7	5 33.3	3 20.0	3 20.0	- -	- -	1 6.7	2 13.3	3 20.0

問 24 外出する際に不安なことは何ですか。(あてはまる答えに○を3つまでつけてください。)

- 外出する際に不安なことについては、身体障がい者、知的障がい者では「特にない」が3割台、精神障がい者では「経費がかかる」が3割台後半で最も多くなっています。
- 身体障がい者では、「道路に階段が多い」、「駅や建物などに段差が多い」が1割台と他の障がいに比べて多く、知的障がい者では「会話が困難」が2割台半ば、精神障がい者では「人目が気になる」、「経費がかかる」がそれぞれ2割台後半と3割後半で、他の障がいに比べて顕著に多くなっています。
- 知的障がい者と精神障がい者では上記の項目への回答の割合とそれ以外の選択肢への回答の割合の差が1割以上あるのに対し、身体障がい者では他の障がいに比べて回答が多岐にわたっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=161)		知的障がい者 (n=130)		精神障がい者 (n=118)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	介護者がいない	8	5.0	10	7.7	7	5.9
2	人目が気になる	9	5.6	7	5.4	35	29.7
3	会話が困難	8	5.0	33	25.4	8	6.8
4	交通機関がない	16	9.9	14	10.8	20	16.9
5	経費がかかる	30	18.6	15	11.5	44	37.3
6	車などが多く危険を感じる	11	6.8	19	14.6	17	14.4
7	道路に階段が多い	20	12.4	8	6.2	1	0.8
8	駅や建物などに段差が多い	26	16.1	8	6.2	3	2.5
9	障がい者用トイレが整っていない	16	9.9	8	6.2	1	0.8
10	案内板がない	1	0.6	0	0.0	1	0.8
11	音の出る信号機がない	1	0.6	3	2.3	0	0.0
12	障がい者用駐車場がない	17	10.6	2	1.5	1	0.8
13	特にない	56	34.8	39	30.0	30	25.4
14	その他	7	4.3	16	12.3	15	12.7
	不明・無回答	26	16.1	16	12.3	11	9.3

障がい者交通対策について

＜高齢者・障がい者外出支援乗車証(とみばす)・重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業＞について

問 25 あなたは、とみばすの利用の申請をしましたか。また、実際に利用はしていますか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○とみばすの利用申請状況については、身体障がい者では「申請するつもりはない」が3割台前半、知的障がい者では「申請対象外である」が2割台半ば、精神障がい者では「申請し、利用している」が3割で、最も多くなっており、障がいによって回答に違いがあります。

○2番目、3番目に多い回答は、身体障がい者では「制度を知らなかった」、「申請し、利用している」でそれぞれ2割台前半と約2割、知的障がい者では「申請するつもりはない」、「申請し、利用している」と「制度を知らなかった」でそれぞれ2割台前半と1割台後半、精神障がい者では「申請するつもりはない」、「制度を知らなかった」でそれぞれ2割台後半と2割となっています。

○外出する際に利用する主な交通手段別にみると三障がいともに、「路線バス」「富谷市民バス」では「申請し、利用している」が3～6割台と一定数いる状況です。また、身体障がい者と精神障がい者では、「自家用車(自分で運転する)」で「申請するつもりはない」が他の選択肢に比べて多くなっています。

○居住地区別にみると、「申請し、利用している」「申請したが、まだ利用していない」の割合は、身体障がい者では「あけの平、とちの木、熊谷」で、知的障がい者では「町上、町中、町下、穀田、原」「鷹乃杜」「東向陽台」、精神障がい者では「町上、町中、町下、穀田、原」「成田」「東向陽台」「明石台」が多くなっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	申請し、利用している	33	19.5	26	18.6	39	30.0
2	申請したが、まだ利用していない	7	4.1	2	1.4	7	5.4
3	申請をする予定である	10	5.9	3	2.1	9	6.9
4	申請するつもりはない	57	33.7	33	23.6	37	28.5
5	申請対象外である	7	4.1	36	25.7	4	3.1
6	制度を知らなかった	36	21.3	26	18.6	26	20.0
	不明・無回答	19	11.2	14	10.0	8	6.2

0% 20% 40% 0% 20% 40% 0% 20% 40%

問 25 とみばすの利用申請状況 × 問 23 外出する際に利用する主な交通手段

上段:件数 下段:割合(%)		全体 (n)	利用申請して いる	利用申請して いない	申請した が、まだ 利用して いない	申請をす る予定で ある	申請する つもりは ない	申請対象 外である	制度を知 らなかつ た	不明・無 回答
身体障がい者	自家用車(自分で運転する)	85 100.0	14 16.5	6 7.1	8 9.4	31 36.5	1 1.2	21 24.7	4 4.7	
	タクシー	18 100.0	4 22.2	-	1 5.6	3 16.7	-	7 38.9	3 16.7	
	路線バス	36 100.0	18 50.0	-	5 13.9	2 5.6	1 2.8	9 25.0	1 2.8	
	富谷市民バス	9 100.0	4 44.4	-	-	-	-	5 55.6	-	
	家族による送迎	41 100.0	8 19.5	2 4.9	2 4.9	15 36.6	4 9.8	8 19.5	2 4.9	
	隣近所の友人・知人による送迎	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	1 20.0	-	
	介護タクシー	4 100.0	-	-	-	3 75.0	-	-	1 25.0	
	施設送迎	14 100.0	2 14.3	1 7.1	-	8 57.1	-	-	3 21.4	
	上段:件数 下段:割合(%)	全体 (n)	利用申請して いる	利用申請して いない	申請した が、まだ 利用して いない	申請をす る予定で ある	申請する つもりは ない	申請対象 外である	制度を知 らなかつ た	不明・無 回答
知的障がい者	自家用車(自分で運転する)	16 100.0	2 12.5	1 6.3	-	2 12.5	4 25.0	3 18.8	4 25.0	
	タクシー	8 100.0	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0	2 25.0	-	
	路線バス	30 100.0	17 56.7	1 3.3	-	4 13.3	3 10.0	4 13.3	1 3.3	
	富谷市民バス	19 100.0	7 36.8	1 5.3	-	3 15.8	3 15.8	3 15.8	2 10.5	
	家族による送迎	73 100.0	12 16.4	1 1.4	3 4.1	19 26.0	25 34.2	10 13.7	3 4.1	
	隣近所の友人・知人による送迎	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	
	介護タクシー	-	-	-	-	-	-	-	-	
	施設送迎	42 100.0	5 11.9	-	2 4.8	10 23.8	13 31.0	9 21.4	3 7.1	
	上段:件数 下段:割合(%)	全体 (n)	利用申請して いる	利用申請して いない	申請した が、まだ 利用して いない	申請をす る予定で ある	申請する つもりは ない	申請対象 外である	制度を知 らなかつ た	不明・無 回答
精神障がい者	自家用車(自分で運転する)	34 100.0	8 23.5	3 8.8	1 2.9	13 38.2	1 2.9	7 20.6	1 2.9	
	タクシー	9 100.0	3 33.3	-	-	2 22.2	-	2 22.2	2 22.2	
	路線バス	51 100.0	29 56.9	-	4 7.8	8 15.7	1 2.0	8 15.7	1 2.0	
	富谷市民バス	21 100.0	13 61.9	-	3 14.3	3 14.3	-	1 4.8	1 4.8	
	家族による送迎	47 100.0	12 25.5	2 4.3	6 12.8	14 29.8	3 6.4	10 21.3	-	
	隣近所の友人・知人による送迎	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	
	介護タクシー	-	-	-	-	-	-	-	-	
	施設送迎	8 100.0	1 12.5	2 25.0	-	3 37.5	-	1 12.5	1 12.5	

問 25 とみばすの利用申請状況 × 問 4 居住地区

上段:件数 下段:割合(%)		全体(n)	申請し、利用している	申請したが、まだ利用していない	申請をする予定である	申請するつもりはない	申請対象外である	た制度を知らなかった	不明・無回答
身体障がい者	町上、町中、町下、穀田、原	8 100.0	-	1 12.5	-	4 50.0	-	2 25.0	1 12.5
	ひより台	13 100.0	1 7.7	-	-	5 38.5	-	4 30.8	3 23.1
	太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田	7 100.0	1 14.3	-	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3	1 14.3
	今泉、大童、大亀、西成田、明石、石積	5 100.0	-	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-
	富ヶ丘	20 100.0	4 20.0	-	2 10.0	7 35.0	-	4 20.0	3 15.0
	鷹乃杜	5 100.0	-	-	-	4 80.0	-	1 20.0	-
	あけの平、とちの木、熊谷	19 100.0	7 36.8	-	-	3 15.8	-	6 31.6	3 15.8
	日吉台、杜ノ橋	28 100.0	4 14.3	-	2 7.1	10 35.7	3 10.7	6 21.4	3 10.7
	上桜木、大清水	10 100.0	3 30.0	-	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
	成田	15 100.0	4 26.7	3 20.0	-	6 40.0	2 13.3	-	-
	東向陽台	5 100.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	3 60.0	-
	明石台	23 100.0	5 21.7	1 4.3	4 17.4	9 39.1	-	3 13.0	1 4.3
	上段:件数 下段:割合(%)		全体(n)	申請し、利用している	申請したが、まだ利用していない	申請をする予定である	申請するつもりはない	申請対象外である	た制度を知らなかった
知的障がい者	町上、町中、町下、穀田、原	7 100.0	2 28.6	1 14.3	-	2 28.6	1 14.3	-	1 14.3
	ひより台	3 100.0	1 33.3	-	-	2 66.7	-	-	-
	太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田	4 100.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	-
	今泉、大童、大亀、西成田、明石、石積	2 100.0	-	-	-	-	-	2 100.0	-
	富ヶ丘	11 100.0	1 9.1	-	-	5 45.5	2 18.2	1 9.1	2 18.2
	鷹乃杜	6 100.0	2 33.3	-	-	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7
	あけの平、とちの木、熊谷	17 100.0	3 17.6	1 5.9	-	3 17.6	5 29.4	4 23.5	1 5.9
	日吉台、杜ノ橋	14 100.0	1 7.1	-	-	5 35.7	2 14.3	3 21.4	3 21.4
	上桜木、大清水	13 100.0	2 15.4	-	-	1 7.7	6 46.2	3 23.1	1 7.7
	成田	19 100.0	5 26.3	-	1 5.3	2 10.5	9 47.4	1 5.3	1 5.3
	東向陽台	10 100.0	3 30.0	-	-	3 30.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0
	明石台	19 100.0	5 26.3	-	1 5.3	5 26.3	7 36.8	-	1 5.3

上段:件数 下段:割合(%)		全体(n)	申請し、利用している	申請したが、まだ利用していない	申請をする予定である	申請するつもりはない	申請対象外である	た制度を知らなかった	不明・無回答
精神障がい者	町上、町中、町下、穀田、原	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-
	ひより台	6 100.0	1 16.7	-	-	4 66.7	1 16.7	-	-
	太子堂、一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7
	今泉、大童、大亀、西成田、明石、石積	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	富ヶ丘	17 100.0	6 35.3	-	-	8 47.1	-	3 17.6	-
	鷹乃杜	9 100.0	1 11.1	1 11.1	-	3 33.3	-	2 22.2	2 22.2
	あけの平、とちの木、熊谷	21 100.0	5 23.8	2 9.5	1 4.8	6 28.6	-	7 33.3	-
	日吉台、杜ノ橋	15 100.0	1 6.7	-	3 20.0	5 33.3	1 6.7	4 26.7	1 6.7
	上桜木、大清水	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	2 40.0	-
	成田	10 100.0	6 60.0	-	1 10.0	-	-	3 30.0	-
	東向陽台	12 100.0	6 50.0	-	-	2 16.7	-	1 8.3	3 25.0
	明石台	13 100.0	7 53.8	-	1 7.7	3 23.1	1 7.7	1 7.7	-

問 25 で「1」を選択した方

問 25-1 とみばすの2回目以降の入金申請をしましたか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○とみばすの2回目以降の入金申請については、三障がいともに「した」が5割台後半から6割台後半で、「していない」を上回っています。

No.	項目	身体障がい者 (n=33)		知的障がい者 (n=26)		精神障がい者 (n=39)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	した	23	69.7	15	57.7	26	66.7
2	していない	10	30.3	11	42.3	12	30.8
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	2.6

0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 25-1 で「2」を選択した方

問 25-2 入金申請をしていない理由は何ですか。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

○入金申請をしていない理由については、三障がいともに「入金申請をするほど利用していないから」の回答が突出しています。

No.	項目	身体障がい者 (n=10)		知的障がい者 (n=11)		精神障がい者 (n=12)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	入金申請をするほど利用していないから	6	60.0	8	72.7	7	58.3
2	入金申請の手続きに行く時間がないから	3	30.0	0	0.0	1	8.3
3	入金申請の手続きに行く交通手段がないから	2	20.0	0	0.0	0	0.0
4	市役所に入金申請書を出さずにチャージしているから	1	10.0	0	0.0	2	16.7
5	入金申請の手続きの仕方が分からないから	0	0.0	0	0.0	1	8.3
6	入金申請の手続きが面倒だから	4	40.0	1	9.1	0	0.0
7	その他	0	0.0	2	18.2	4	33.3
	不明・無回答	0	0.0	1	9.1	0	0.0

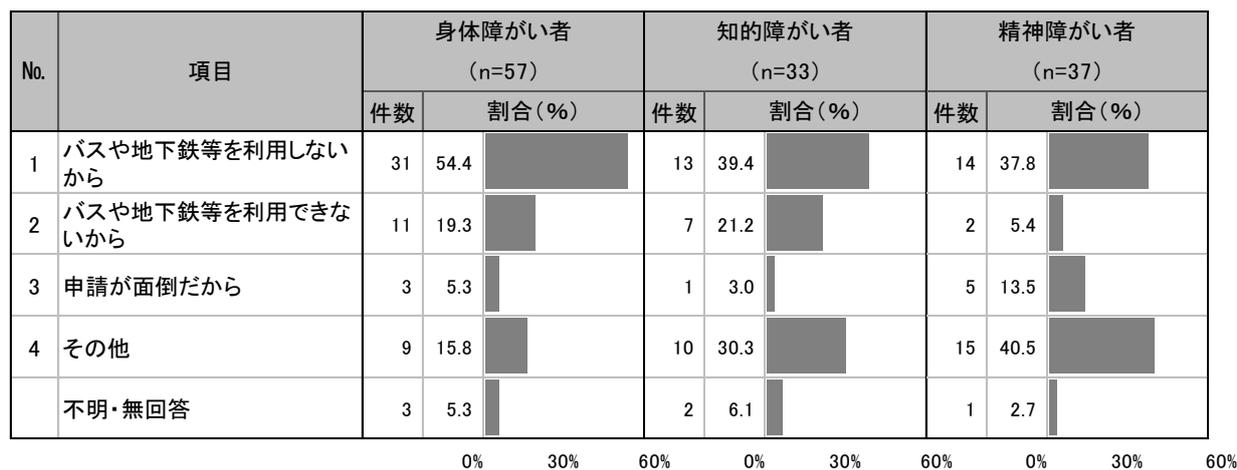
0% 40% 80% 0% 40% 80% 0% 40% 80%

問 25 で「4」を選択した方

問 25-3 とみぱすを申請しない一番の理由はなぜですか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○とみぱすを申請しない一番の理由については、「その他」を除くと三障がいともに「バスや地下鉄等を利用しないから」が最も多く、身体障がい者では5割台半ば、知的障がい者では約4割、精神障がい者では3割台後半となっています。

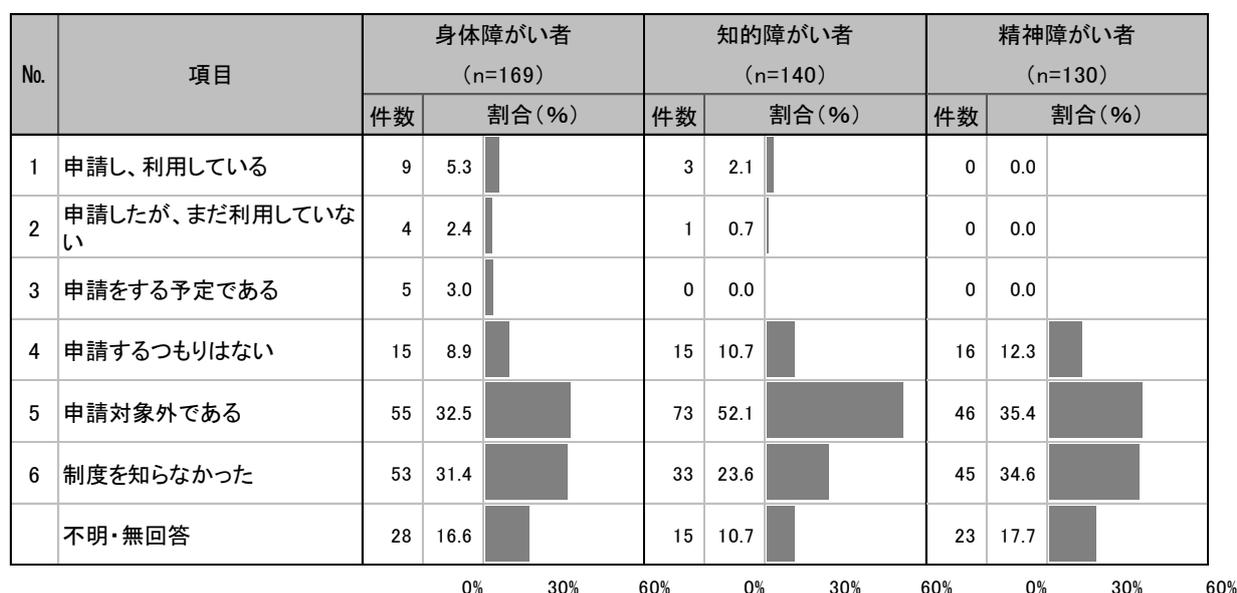
○2番目に多い回答は、身体障がい者と知的障がい者では「バスや地下鉄等を利用できないから」で2割前後、精神障がい者では「申請が面倒だから」で1割台前半となっています。



問 26 あなたは、タクシーチケット(重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業)について利用の申請をしましたか。また、実際に利用はしていますか。(あてはまる答えに○を1つだけつけてください。)

○タクシーチケットの利用申請状況については、三障がいともに「申請対象外である」が最も多く、身体障がい者では3割台前半、知的障がい者では5割台前半、精神障がい者では3割台半ば、次いで「制度を知らなかった」がそれぞれ3割台前半、2割台前半、3割台半ばとなっています。

○三障がいともに「申請するつもりはない」への回答が約1割あります。



問 27 タクシーチケット（重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業）について、対象の拡大を希望しますか。あてはまる答えに○を1つだけつけ、その理由も記載してください。

○タクシーチケットの対象拡大の希望については、三障がいともに「わからない」が最も多く2割台半ばから3割台半ば、次いで「する」が1割台前半から後半、「しない」が1割未満となっています。

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	する	28	16.6	16	11.4	17	13.1
2	しない	11	6.5	6	4.3	6	4.6
3	わからない	42	24.9	49	35.0	41	31.5
	不明・無回答	88	52.1	69	49.3	66	50.8

0% 30% 60% 0% 30% 60% 0% 30% 60%

希望する理由・希望しない理由（主な回答）

	希望する理由	希望しない理由
身体障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な負担の軽減のため。 ○目と耳が不自由な人は外出が難しいため。 ○徒歩で出歩くことが困難な障がいのため。 ○医療機関へ通院の際、利用できる交通手段がタクシーしかないため。 ○高齢になったときの交通手段の確保。 ○介護タクシーの料金が高いと感じる。 ○家族に送迎してもらえない時に利用したい。 ○自分ひとりで外出したいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用する機会がない。 ○現時点では特に必要としていない。 ○ガソリン利用チケットにしてもらいたい。 ○自家用車で間に合っているため。
知的障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な負担の軽減のため。 ○家族に送迎してもらえない時に利用したい。 ○生活することに大変、金銭的不安が減少する。 ○とみばすは、本人が交通機関のあれこれを理解できる人向けである。 ○バス待ちが困難な時に利用できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチャータイプの車イスは入らない。 ○利用していないため、現行のままで良いと思った。タクシーチケットのサービスをするならガソリン券のサービスもしてほしい。 ○現時点で家族で対応できている。
精神障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な負担の軽減のため。 ○バスの時刻に合わせて行動するのが困難なため。 ○バスや鉄道の中の雰囲気は苦手なため。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人で外出できるため。 ○家族以外の人と同乗することに抵抗があるため。 ○通所、病院以外の外出はしていない。外出は施設の車両が迎えに来てくれる。 ○お金がもったいないと感じる。

問 27 タクシーチケットの対象拡大の希望 × 問 6 手帳の種類と等級 (参考)

		n	する		しない		わからない		不明・無回答
			件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	
身 体	1 級	26	14	53.8	3	11.5	9	34.6	22
	2 級	22	7	31.8	3	13.6	12	54.5	9
	3 級	12	2	16.7	-	-	10	83.3	13
	4 級	6	3	50.0	1	16.7	2	33.3	22
	5 級	3	-	-	1	33.3	2	66.7	12
	視覚障害	2	1	50.0	-	-	1	50.0	3
	聴覚障害	9	1	11.1	3	33.3	5	55.6	4
	平衡機能障害	1	-	-	-	-	1	100.0	-
	音声・言語・ そしゃく	5	-	-	-	-	5	100.0	3
	上肢機能障害	21	9	42.9	1	4.8	11	52.4	14
	下肢機能障害	34	14	41.2	5	14.7	15	44.1	35
	体幹機能障害	4	-	-	-	-	4	100.0	1
	心肺機能障害	7	3	42.9	-	-	4	57.1	14
	じん臓機能障害	6	3	50.0	1	16.7	2	33.3	2
	呼吸器機能障害	-	-	-	-	-	-	-	2
	ぼうこう・ 直腸機能障害	3	1	33.3	1	33.3	1	33.3	5
	小腸機能障害	-	-	-	-	-	-	-	1
	免疫機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
	肝臓機能障害	1	1	100.0	-	-	-	-	1
知 的	A	35	7	20	4	11	24	69	12
	B	31	9	29.0	1	3.2	21	67.7	53
精 神	1 級	6	-	-	-	-	6	100.0	5
	2 級	31	10	32.3	2	6.5	19	61.3	31
	3 級	24	7	29.2	3	12.5	14	58.3	26

※ n には不明・無回答分除く

福祉サービスについて

問 28① 現在利用しているサービスはどれですか（あてはまる答えにすべて○をつけてください。）

○利用しているサービスについては、身体障がい者、精神障がい者で不明・無回答が7～8割となっています。

○知的障がい者では「放課後等デイサービス」が2割台前半で最も多く、次いで、「就労継続支援（B型）」、「短期入所（ショートステイ）」で2割前後、「生活介護」で1割台となっています。

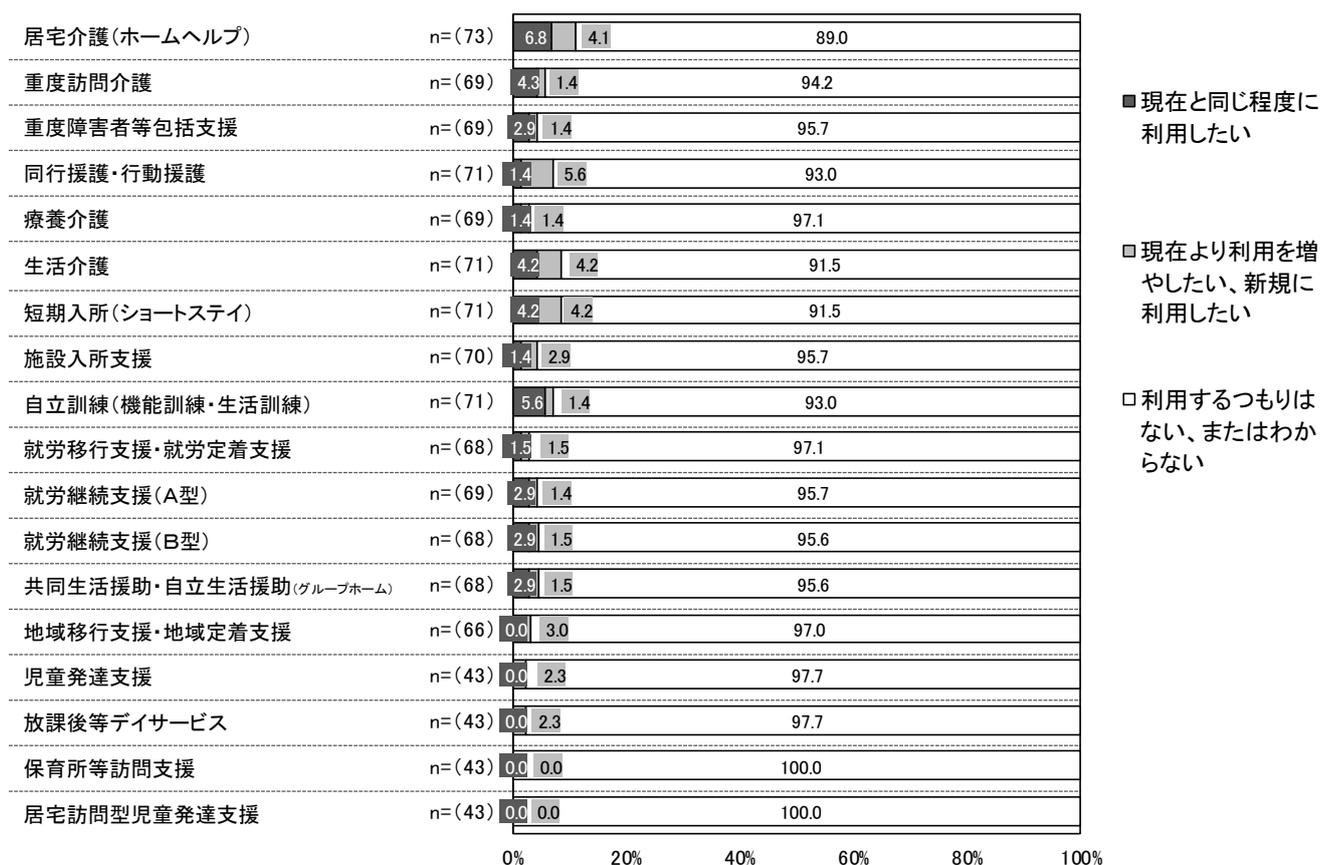
No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	居宅介護(ホームヘルプ)	5	3.0	5	3.6	8	6.2
2	重度訪問介護	3	1.8	2	1.4	0	0.0
3	重度障害者等包括支援	3	1.8	4	2.9	1	0.8
4	同行援護・行動援護	2	1.2	8	5.7	1	0.8
5	療養介護	1	0.6	1	0.7	0	0.0
6	生活介護	5	3.0	22	15.7	0	0.0
7	短期入所(ショートステイ)	3	1.8	27	19.3	2	1.5
8	施設入所支援	2	1.2	5	3.6	0	0.0
9	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	4	2.4	1	0.7	2	1.5
10	就労移行支援・就労定着支援	0	0.0	4	2.9	11	8.5
11	就労継続支援(A型)	0	0.0	3	2.1	4	3.1
12	就労継続支援(B型)	3	1.8	28	20.0	4	3.1
13	共同生活援助・自立生活援助 (グループホーム)	1	0.6	13	9.3	4	3.1
14	地域移行支援・地域定着支援	0	0.0	2	1.4	1	0.8
15	児童発達支援	1	0.6	15	10.7	1	0.8
16	放課後等デイサービス	0	0.0	32	22.9	2	1.5
17	保育所等訪問支援	0	0.0	7	5.0	0	0.0
18	居宅訪問型児童発達支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	148	87.6	42	30.0	95	73.1

問 28② 今後のサービス利用について、お答えください。(あてはまる答えにすべて○をつけてください。)

- 今後のサービス利用意向については、身体障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」がいずれも1割未満となっています。「現在と同じ程度に利用したい」で〈居宅介護（ホームヘルプ）〉が最も多く、次いで〈自立訓練（機能訓練・生活訓練）〉〈重度訪問介護〉となっています。
- 知的障がい者では、障害福祉サービスの「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」で、〈短期入所（ショートステイ）〉が3割前半と最も多く、次いで〈共同生活援助・自立生活援助（グループホーム）〉〈同行援護・行動援護〉とがそれぞれ2割半ばとなっています。また、障害児福祉サービスの「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」で、〈放課後等デイサービス〉が2割弱と最も多くなっています。
- 精神障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」で、〈居宅介護（ホームヘルプ）〉〈就労移行支援・就労定着支援〉がそれぞれ1割台半ばとなっています。また、「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」で、〈就労継続支援（B型）〉が1割台前半と最も多いほか、〈共同生活援助・自立生活援助（グループホーム）〉〈地域移行支援・地域定着支援〉〈生活介護〉〈就労移行支援・就労定着支援〉〈就労継続支援（A型）〉も1割台となっています。

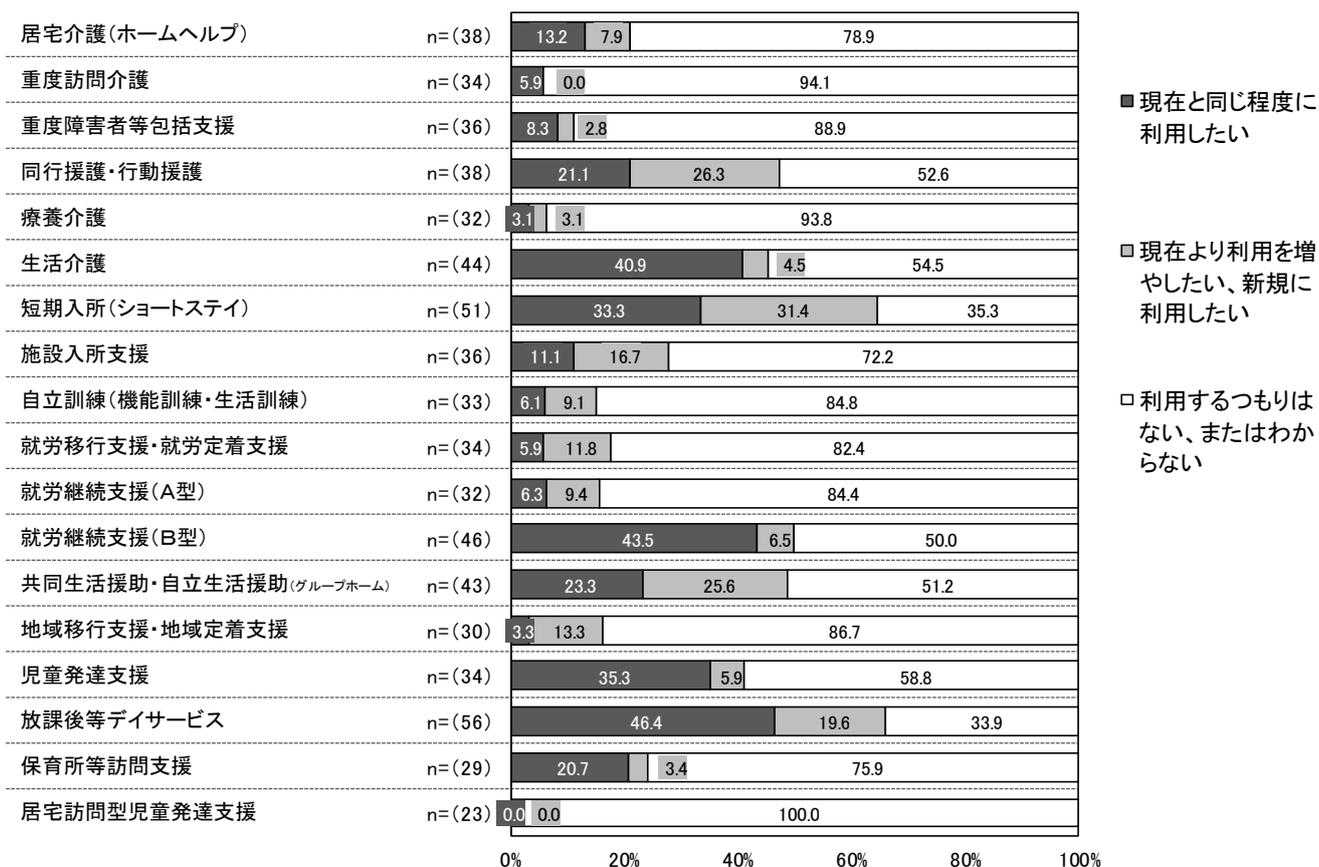
【身体障がい者】

※不明・無回答を除いて集計



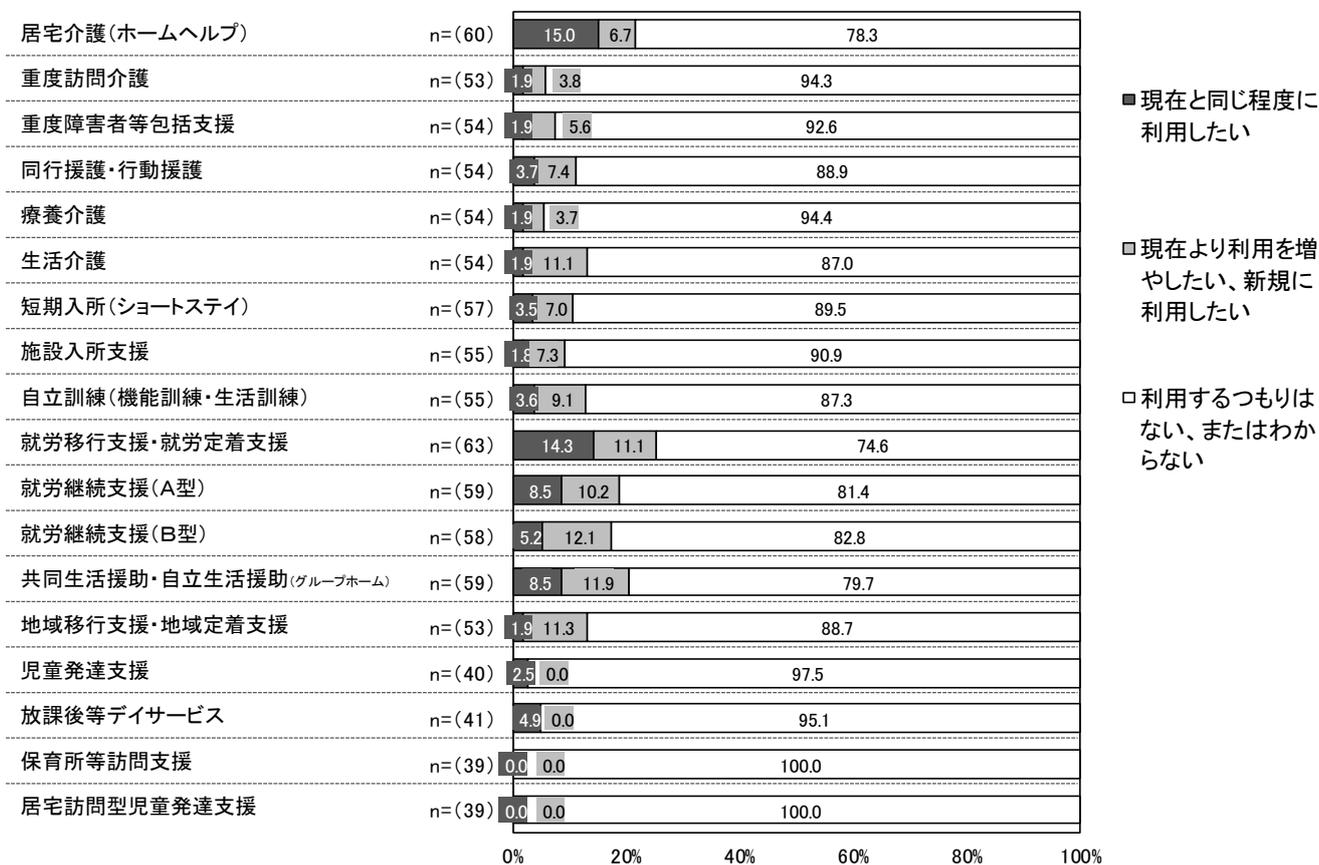
【知的障がい者】

※不明・無回答を除いて集計



【精神障がい者】

※不明・無回答を除いて集計



権利擁護について

問 29 福祉サービスの利用手続きや生活費・財産管理のお手伝い等をする制度として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」があります。このような制度や事業を知っていますか。また利用してみたいと思いますか。(あてはまる答えにそれぞれ、○を1つずつつけてください。)

- 「地域福祉権利擁護事業」については、三障がいともに「知らない」が5割前半から約7割で「知っている」、「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」を大きく上回っています。
- 「成年後見制度」については、身体障がい者と知的障がい者では「知っている」、「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」、「知らない」がそれぞれ2割台半ばから3割台前半と回答が分散しているのに対し、精神障がい者では「知らない」が5割台半ばで「知っている」、「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」を大きく上回っています。
- 「地域福祉権利擁護事業」、「成年後見制度」の利用意向については、三障がいともにどちらについても「わからない」が4割台前半から5割台前半で最も多く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が1割台半ばから3割台後半となっています。

■地域福祉権利擁護事業

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	20	11.8	29	20.7	8	6.2
	2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	21	12.4	25	17.9	21	16.2
	3 知らない	101	59.8	73	52.1	90	69.2
	不明・無回答	27	16.0	13	9.3	11	8.5
		0% 40% 80%		0% 40% 80%		0% 40% 80%	
利用状況・意向	1 利用している	0	0.0	2	1.4	0	0.0
	2 すぐにでも利用したい	2	1.2	3	2.1	4	3.1
	3 今は必要ないが、将来利用してみたい	26	15.4	47	33.6	26	20.0
	4 利用したくない	16	9.5	2	1.4	6	4.6
	5 わからない	83	49.1	58	41.4	71	54.6
	不明・無回答	42	24.9	28	20.0	23	17.7
		0% 30% 60%		0% 30% 60%		0% 30% 60%	

■成年後見制度

No.	項目	身体障がい者 (n=169)		知的障がい者 (n=140)		精神障がい者 (n=130)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	44	26.0	45	32.1	23	17.7
	2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	41	24.3	41	29.3	25	19.2
	3 知らない	54	32.0	42	30.0	71	54.6
	不明・無回答	30	17.8	12	8.6	11	8.5
		0% 40% 80%		0% 40% 80%		0% 40% 80%	
利用状況・意向	1 利用している	2	1.2	3	2.1	1	0.8
	2 すぐにも利用したい	2	1.2	3	2.1	2	1.5
	3 今は必要ないが、将来利用してみたい	28	16.6	51	36.4	25	19.2
	4 利用したくない	15	8.9	1	0.7	9	6.9
	5 わからない	79	46.7	56	40.0	67	51.5
	不明・無回答	43	25.4	26	18.6	26	20.0
		0% 30% 60%		0% 30% 60%		0% 30% 60%	

富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画策定に向けた
実態把握調査結果報告書
令和2年3月

発行 / 富谷市
編集 / 富谷市 保健福祉部 地域福祉課
〒981-3392 富谷市富谷坂松田 30 番地
電話：022-358-3294 F A X：022-358-9915